

II 集計分析報告

Ⅱ 集計分析報告

Ⅱ-1. 要介護リスクの傾向について（一般高齢者、事業対象者・要支援認定者）

本項目は、厚生労働省が示した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 実施の手引き」における分析項目のうち、一般的な集計とは異なる方法で分析する項目の傾向分析を行ったものです。

分析対象は、「一般高齢者調査」、「要支援・事業対象者調査」の回答者です。

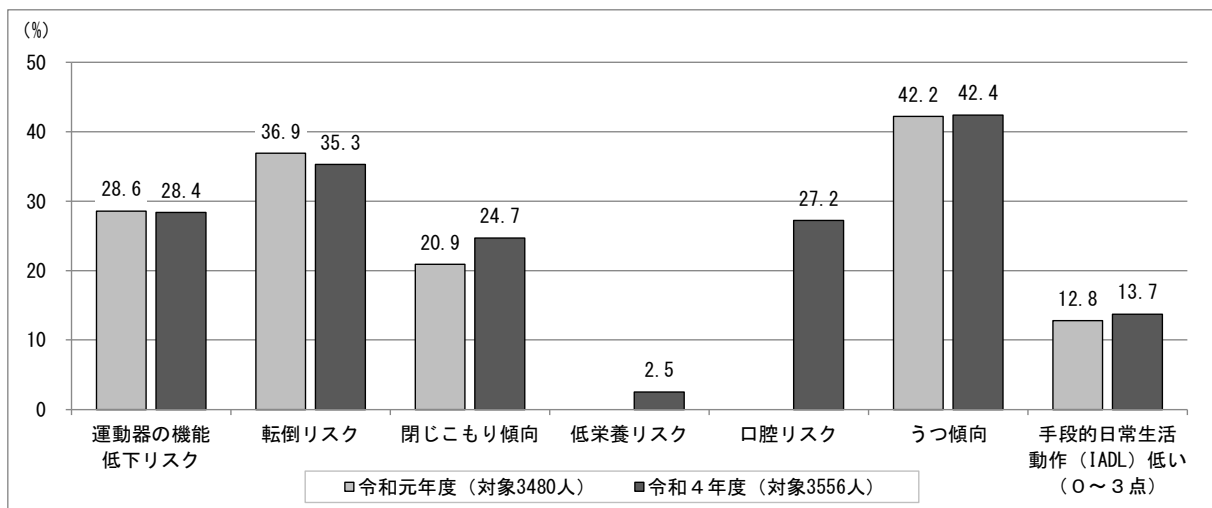
（1）全体的な傾向について

「うつ傾向」の42.4%が最も割合が高く、「転倒リスク」が35.3%となっています。

また、「運動器の機能低下リスク」と「閉じこもり傾向」、「口腔リスク」が20%以上となっており、各分野において予防の取り組みが必要と考えられます。

これを、前回（令和元年度）調査と比較すると、3項目で該当者の割合が上昇しています。

なお、最も大きな上昇をしている項目は「閉じこもり傾向」が20.9%から24.7%へ+3.8ポイントとなっているものの、その他には特に大きな上昇はみられません。



※低栄養リスク、口腔リスクは今回の調査のみ実施

(2) 運動器の機能低下リスクについて

高齢者の運動器の機能低下のリスクについては、以下の設問において3問以上該当する回答者を「リスクあり」として抽出しました。

設 問	設問番号		該当する選択肢
	一般高齢者	要支援・事業対象者	
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	問3 (1)	問4 (1)	3 できない
椅子に座った状態から何もつかまらず立ち上がっていますか	(2)	(2)	3 できない
15分位続けて歩いていますか	(3)	(3)	3 できない
過去1年間に転んだ経験がありますか	(4)	(4)	1 何度もある 2 1度ある
転倒に対する不安は大きいですか	(5)	(5)	1 とても不安である 2 やや不安である

<全体的な傾向>

回答者の28.4%に運動器の機能低下リスクがみられます。

<年齢階層別の傾向>

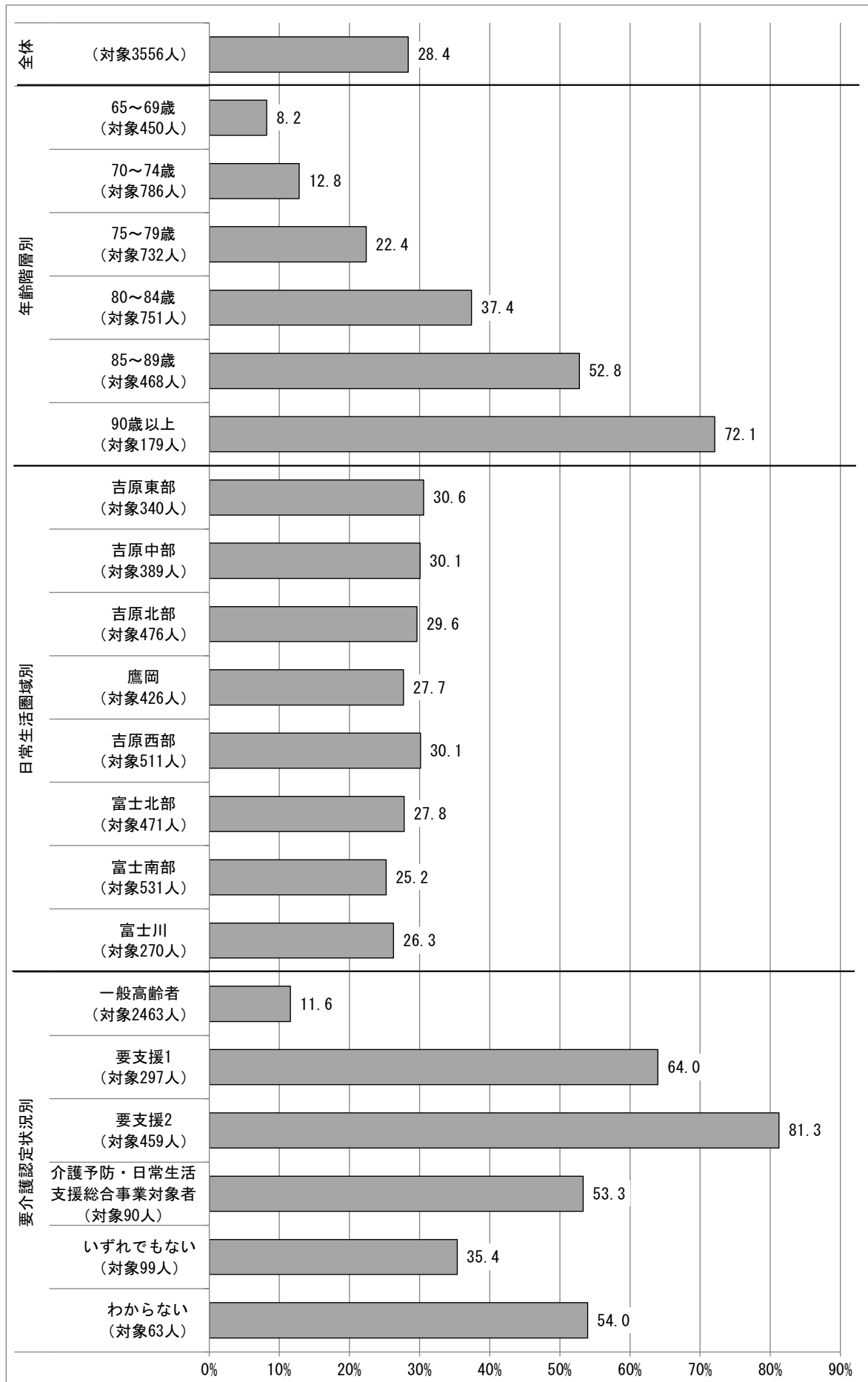
年齢階層の上昇とともに該当者の割合も上昇しており、「85～89歳」で52.8%、「90歳以上」で72.1%が該当しています。

<日常生活圏域別の傾向>

最も割合が高い「吉原東部」では30.6%、次いで「吉原中部」と「吉原西部」でともに30.1%となっており、その他の5地区では該当者が30%未満となっています。

<要介護認定状況別の傾向>

「一般高齢者」では11.6%ですが、「事業対象者」では53.3%と半数以上となっており、「要支援1」では64.0%、「要支援2」で81.3%となっています。



(3) 転倒リスクについて

高齢者の転倒リスクについては、以下の設問に該当する回答者を「リスクあり」として抽出しました。

設 問	設問番号		該当する選択肢
	一般高齢者	要支援・ 事業対象者	
過去1年間に転んだ経験がありますか	問3(4)	問4(4)	1 何度もある 2 1度ある

<全体的な傾向>

回答者の35.3%に転倒リスクがみられます。

<年齢階層別の傾向>

年齢階層の上昇とともに該当者の割合も上昇しており、「85～89歳」で49.8%と半数近く、「90歳以上」で61.5%が該当しています。

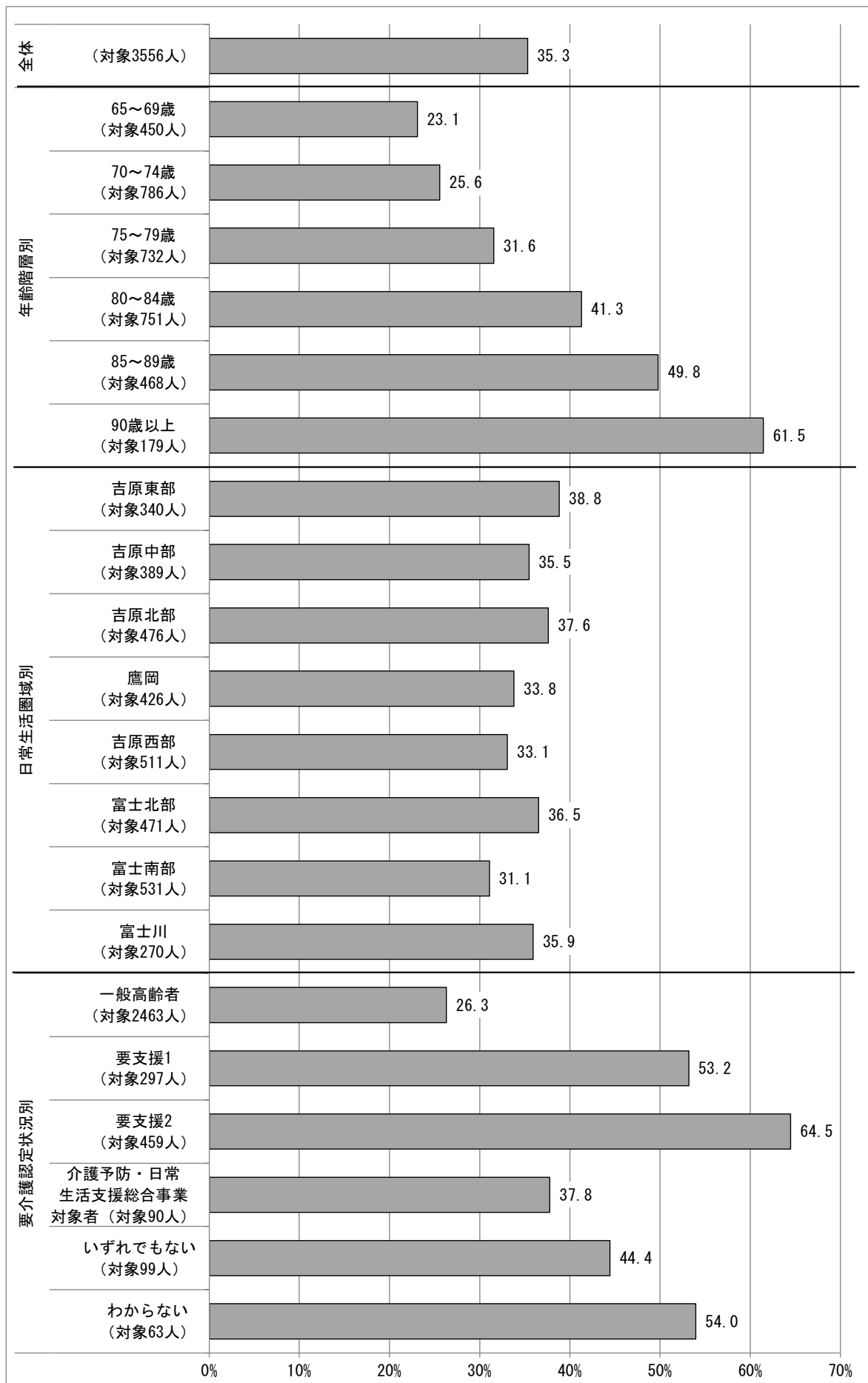
<日常生活圏域別の傾向>

最も割合が高い「吉原東部」で38.8%、最も割合が低い「富士南部」で31.1%となっており、最も割合が高い地域と最も割合が低い地域で7.7ポイントの差があります。

なお、全ての地区で30%以上が該当しています。

<要介護認定状況別の傾向>

「一般高齢者」では26.3%、「事業対象者」では37.8%ですが、「要支援1」で53.2%、「要支援2」で64.5%となっており、半数以上が該当しています。



(4) 閉じこもり傾向について

高齢者の閉じこもり傾向については、以下の設問に該当する回答者を「閉じこもり傾向あり」として抽出しました。

設 問	設問番号		該当する選択肢
	一般高齢者	要支援・事業対象者	
週に1回以上は外出していますか	問3(8)	問4(8)	1 ほとんど外出しない 2 週1回

<全体的な傾向>

回答者の24.7%に閉じこもり傾向がみられます。

<年齢階層別の傾向>

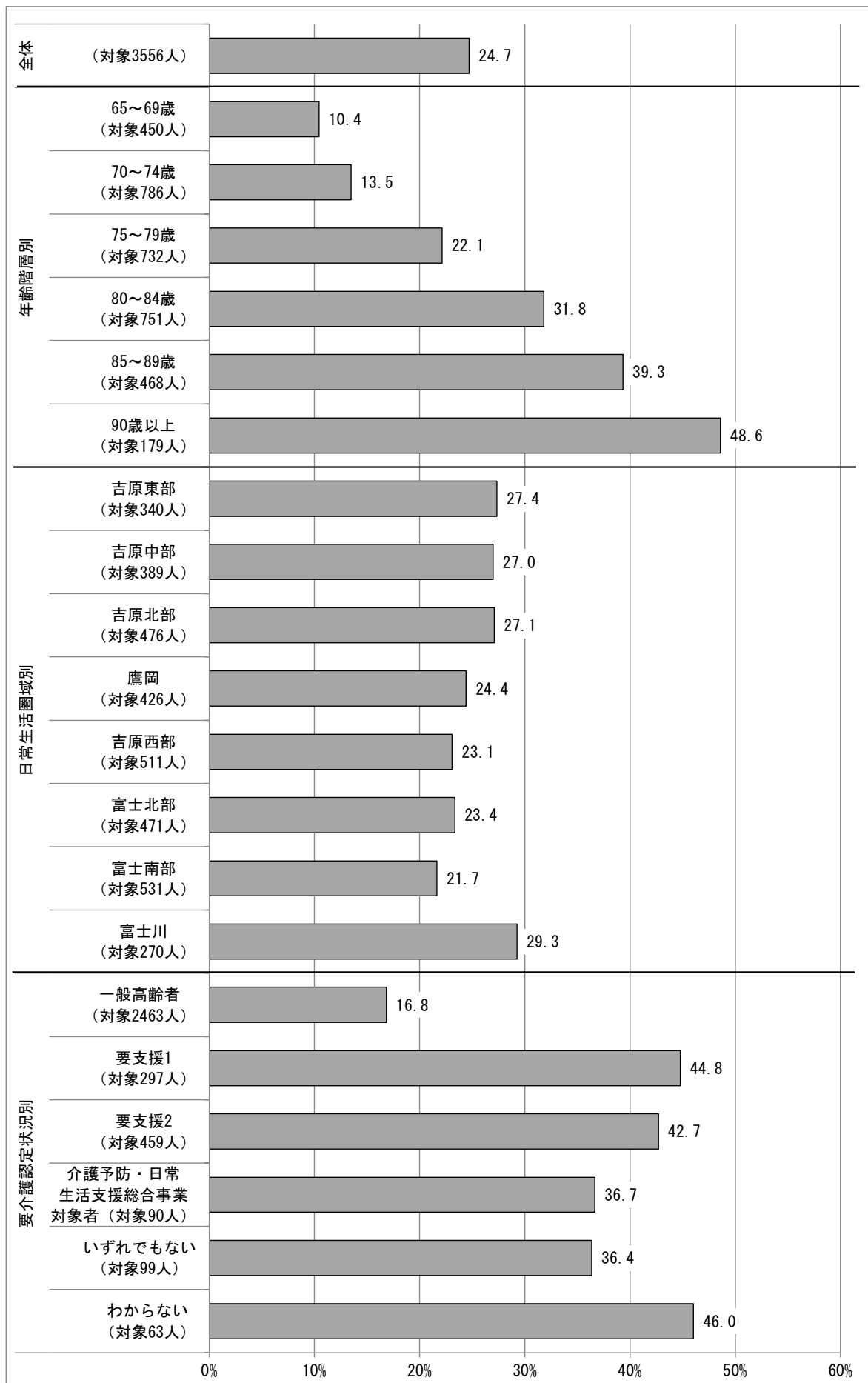
年齢階層の上昇とともに該当者の割合も上昇しており、「85～89歳」では39.3%、「90歳以上」で48.6%が該当しています。

<日常生活圏域別の傾向>

最も割合が高い「富士川」では29.3%、最も割合が低い「富士南部」で21.7%となっており、全ての地区で20%以上が該当しています。

<要介護認定状況別の傾向>

「一般高齢者」では16.8%、「事業対象者」では36.7%ですが、「要支援1」では44.8%、「要支援2」で42.7%となっており、40%以上が該当しています。



(5) 低栄養リスクについて

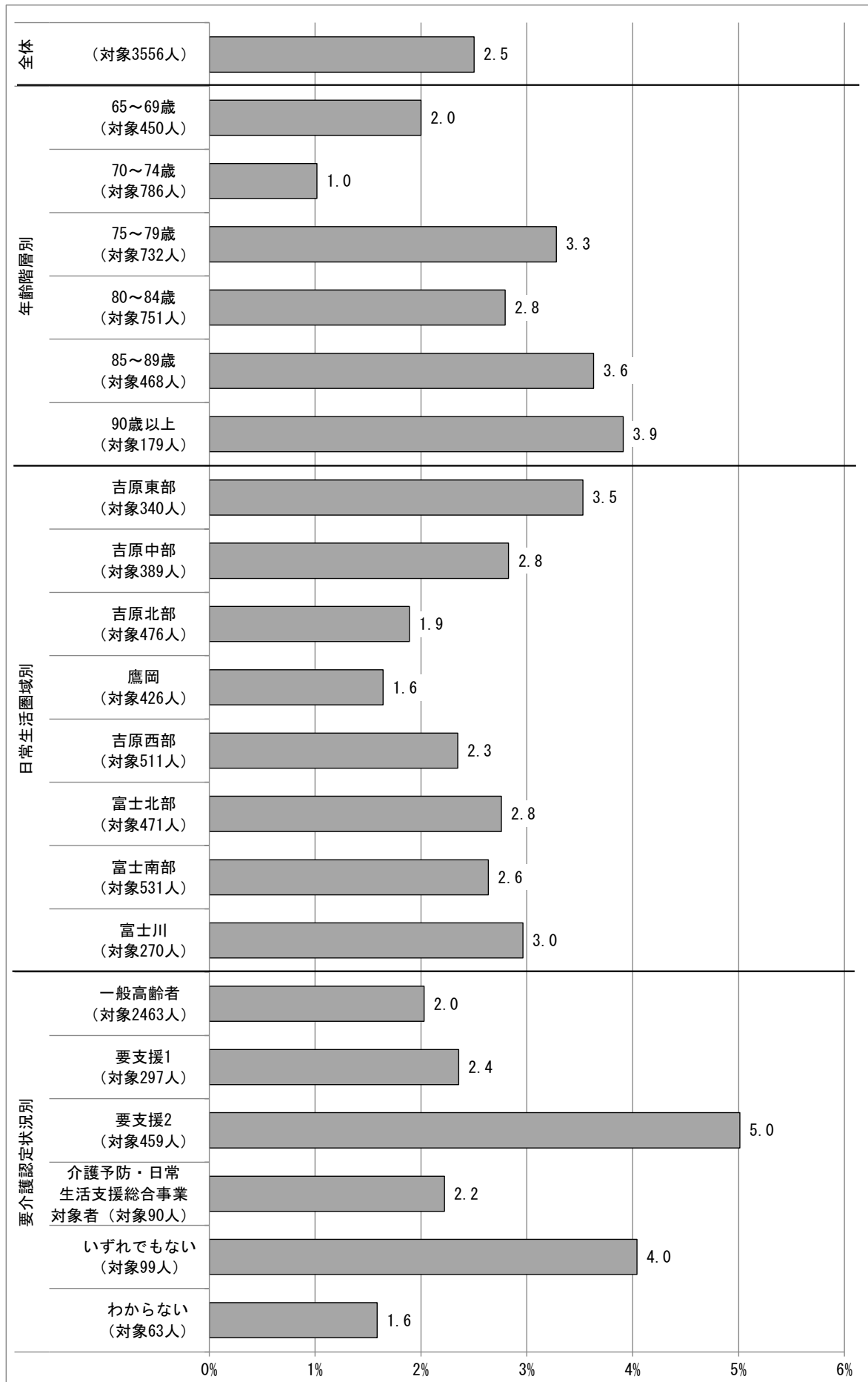
高齢者の低栄養リスクについては、以下の設問両方に該当する回答者を「リスクあり」として抽出しました。

設 問	設問番号		該当する選択肢
	一般高齢者	要支援・事業対象者	
身長・体重（BMI）	問4（1）	問5（1）	低体重（BMI 18.5未満）
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	問4（2）	問5（2）	1 はい

<全体的な傾向>

回答者の2.5%に低栄養リスクがみられますが、該当者は少数となっています。

また、各属性別の集計においても、「要支援2」で5.0%（459人中23人）となっていますが、その他の集計・分類では4.0%以下となっています。



(6) 口腔リスクについて

高齢者の口腔リスクについて、以下の設問において2問以上該当する回答者を「リスクあり」として抽出しました。

設 問	設問番号		該当する選択肢
	一般高齢者	要支援・ 事業対象者	
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	問4 (3)	問5 (3)	1 はい
お茶や汁物でむせることはありますか	問4 (7)	問5 (7)	1 はい
口の渇きが気になりますか	問4 (8)	問5 (8)	1 はい

<全体的な傾向>

回答者の27.2%に口腔リスクがみられます。

<年齢階層別の傾向>

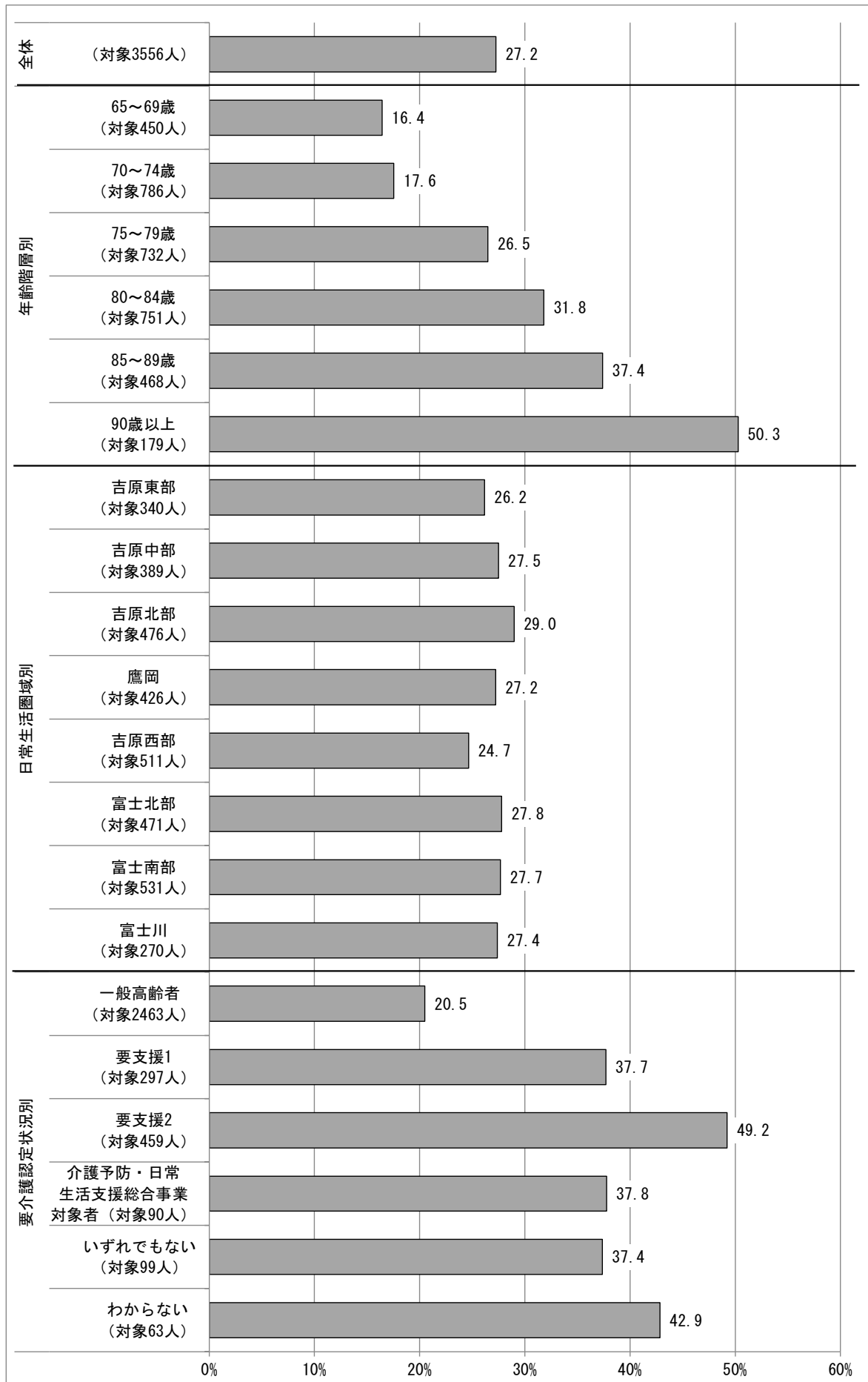
年齢階層の上昇とともに該当者の割合も上昇しており、「85～89歳」では37.4%、「90歳以上」で50.3%と半数以上が該当しています。

<日常生活圏域別の傾向>

最も割合が高い「吉原北部」では29.0%、最も割合が低い「吉原西部」で24.7%となっており、地区別による大きな差はみられません。

<要介護認定状況別の傾向>

「一般高齢者」では20.5%ですが、「事業対象者」では37.8%、「要支援1」の37.7%とほぼ同率となっています。また、「要支援2」では49.2%が該当しています。



(7) うつ傾向について

高齢者のうつ傾向については、以下の設問において1問以上該当する回答者を「うつ傾向あり」として抽出しました。

設 問	設問番号		該当する選択肢
	一般高齢者	要支援・事業対象者	
この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	問6(3)	問7(3)	1 はい
この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	問6(4)	問7(4)	1 はい

<全体的な傾向>

回答者の42.4%にうつ傾向がみられます。

<年齢階層別の傾向>

年齢階層の上昇とともに該当者の割合も上昇しており、「85～89歳」で48.9%が該当しています。なお、「90歳以上」では48.0%が該当しています。

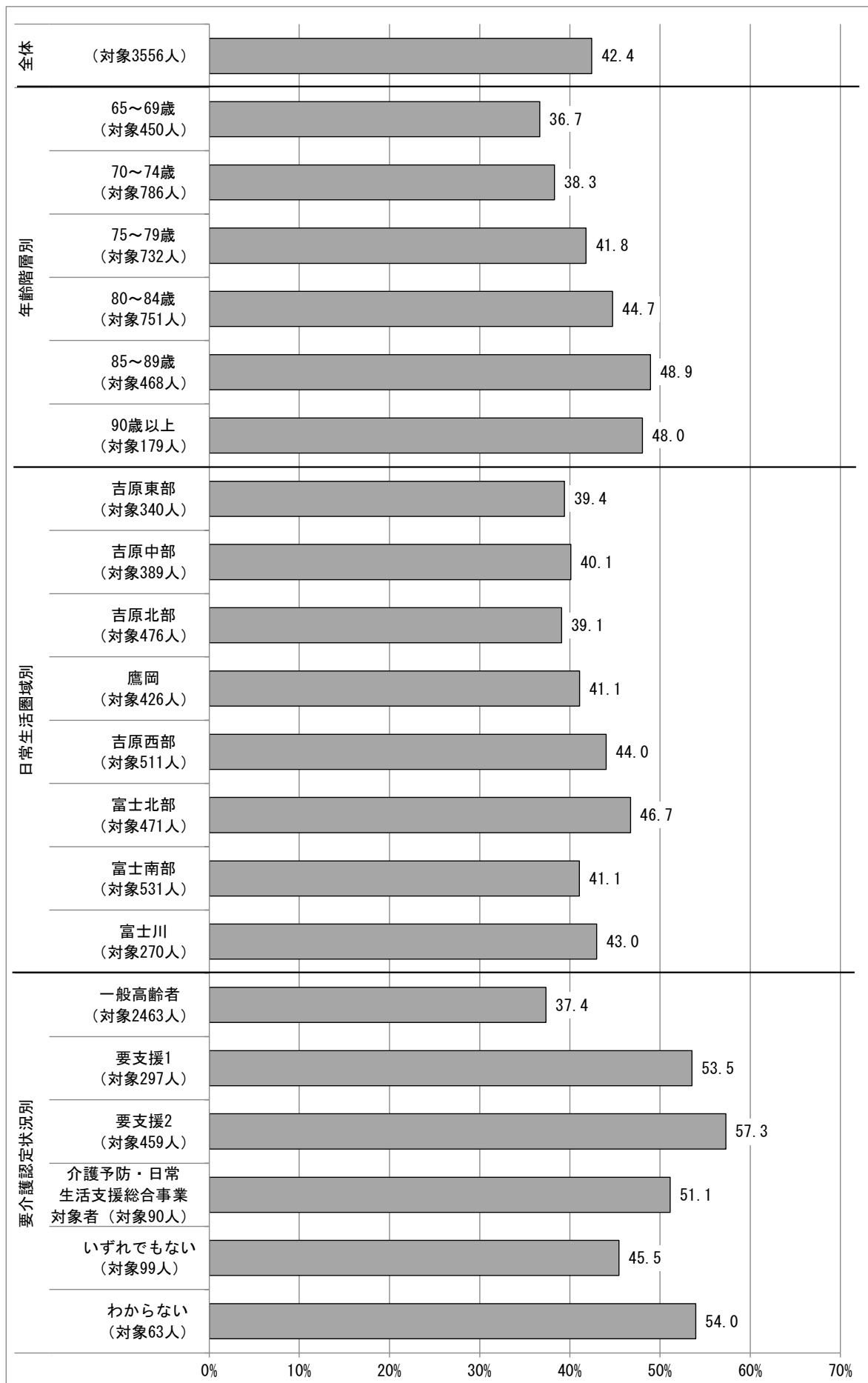
<日常生活圏域別の傾向>

最も割合が高い「富士北部」では46.7%、最も割合が低い「吉原北部」で39.1%となっており、最も割合が高い地区と最も割合が低い地区で7.6ポイントの差がみられます。

なお、「吉原東部」と「吉原北部」を除いた6地区では40%以上が該当しています。

<要介護認定状況別の傾向>

「一般高齢者」では37.4%ですが、「事業対象者」では51.1%、「要支援1」で53.5%、「要支援2」で57.3%と半数以上が該当しています。



(8) 手段的日常生活動作 (IADL) について

高齢者の手段的日常生活動作 (IADL) については、以下の設問の回答の組み合わせによりリスクを3段階に分類しました。

設 問	設問番号		該当する選択肢
	一般高齢者	要支援・事業対象者	
バスや電車を使って一人で外出していますか (自家用車でも可)	問5 (2)	問6 (2)	全設問で 「1 できるし、している」 …1点 「2 できるけどしていない」 …1点 「3 できない」……………0点 とし、その合計が 5点……………高い 4点……………やや低い 0～3点…低い なお、一つでも無記入がある場合は「集計外」として分類
自分で食品・日用品の買い物をしていますか	(3)	(3)	
自分で食事の用意をしていますか	(5)	(5)	
自分で請求書の支払いをしていますか	(6)	(6)	
自分で預貯金の出し入れをしていますか	(7)	(7)	

<全体的な傾向>

回答者の13.7%が「低い(0～3点)」、10.4%が「やや低い(4点)」に該当しています。

<年齢階層別の傾向>

「低い(0～3点)」は、年齢階層の上昇とともに該当者の割合も上昇し、「85～89歳」では25.6%、「90歳以上」で45.8%となっています。

また、「やや低い(4点)」は、「65～69歳」と「70～74歳」の前期高齢者では同率となっています。また、「70～74歳」以上では年齢階層の上昇とともに該当者割合も上昇し、「85～89歳」では17.1%となっていますが、「90歳以上」では低下して15.1%となっています。

なお、「90歳以上」では「低い(0～3点)」と「やや低い(4点)」を合わせると60.9%となり、半数以上が該当します。

<日常生活圏域別の傾向>

「低い(0～3点)」は、最も割合が高い「吉原東部」では16.2%、最も割合が低い「富士南部」で12.6%となっており、地区別による大きな差はみられません。

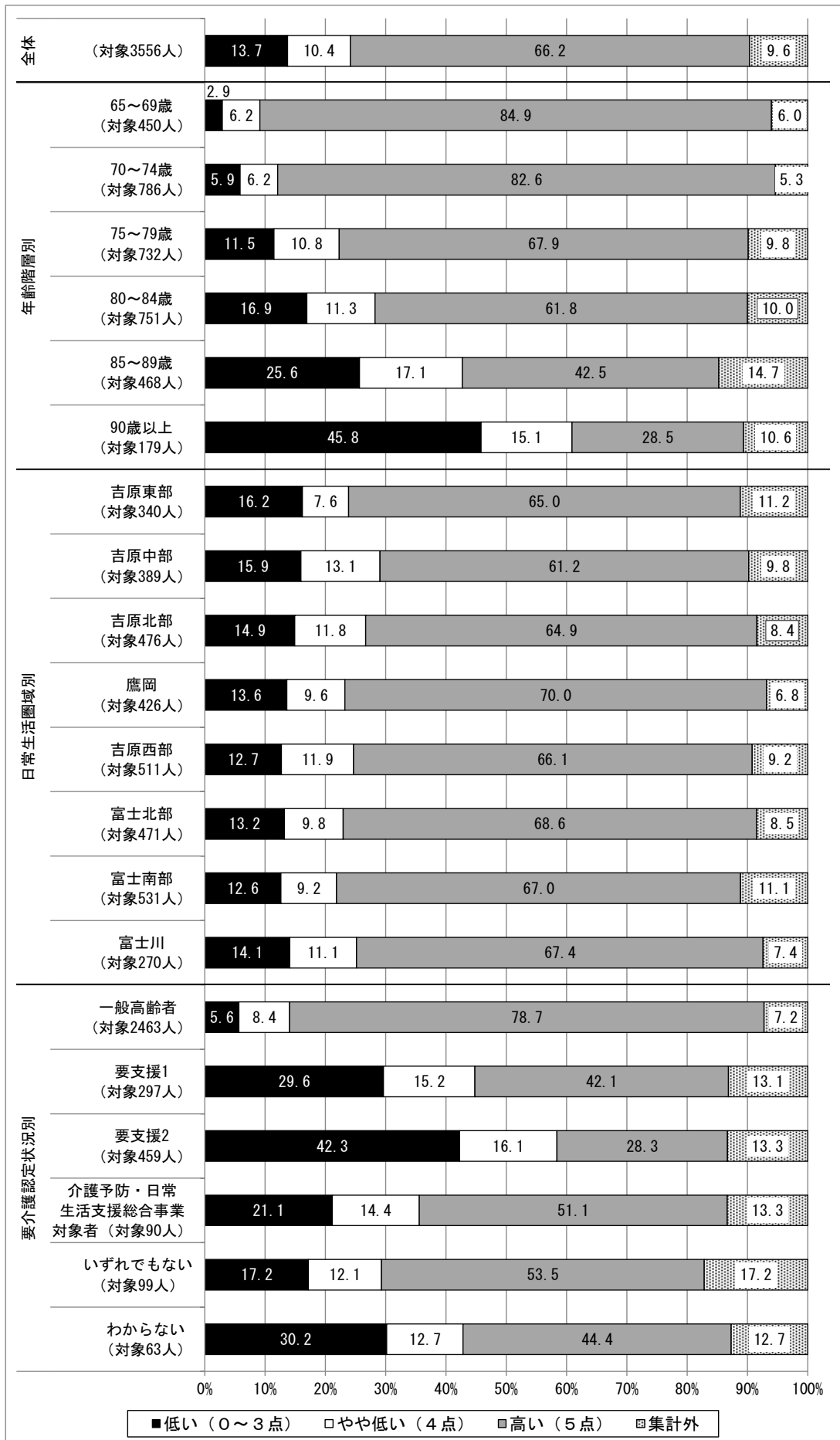
また、「やや低い(4点)」は、「吉原中部」と「吉原北部」、「吉原西部」、「富士川」で10%以上が該当しています。

<要介護認定状況別の傾向>

「低い(0～3点)」は、「一般高齢者」では5.6%ですが、「事業対象者」では21.1%、「要支援1」では29.6%、「要支援2」では42.3%が該当しています。

また、「やや低い(4点)」は、「一般高齢者」では8.4%ですが、「事業対象者」では14.4%、「要支援1」では15.2%、「要支援2」で16.1%が該当しています。

なお、「要支援2」は、「低い(0～3点)」と「やや低い(4点)」を合わせると58.4%となっています。



(9) 日常生活圏域別の傾向について

7項目の要介護リスクについて、日常生活圏域別の傾向は以下の通りです。(市全体=1との比較)

吉原東部では、「口腔リスク」と「うつ傾向」が市全体を下回り、その他の5項目では市全体を上回っています。特に、「低栄養リスク」の割合が高く、市全体を41%上回っています。

吉原中部では、「うつ傾向」が市全体を下回り、「転倒リスク」は市と同率、その他の5項目では市全体を上回っています。このうち、「低栄養リスク」では13%、「手段的日常生活動作(IADL)低い」では16%が市全体を上回っています。

吉原北部では、「低栄養リスク」と「うつ傾向」が市全体を下回り、その他の5項目では市全体を上回っています。このうち、「低栄養リスク」では市全体を24%下回っています。

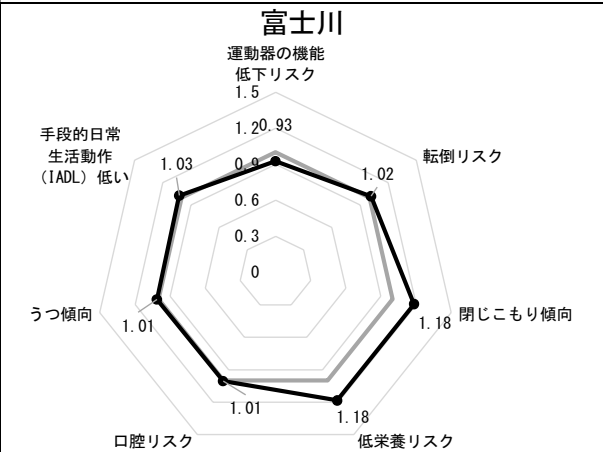
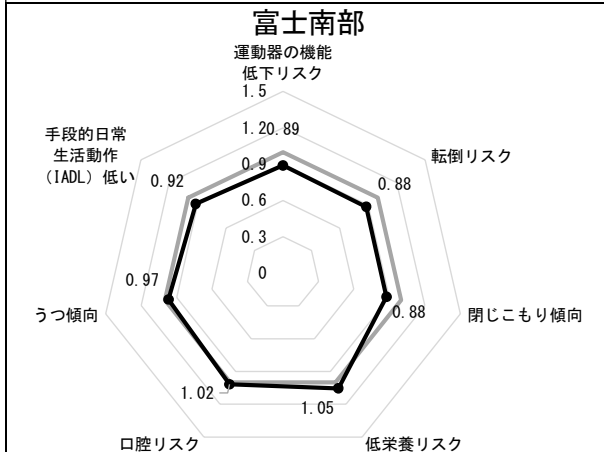
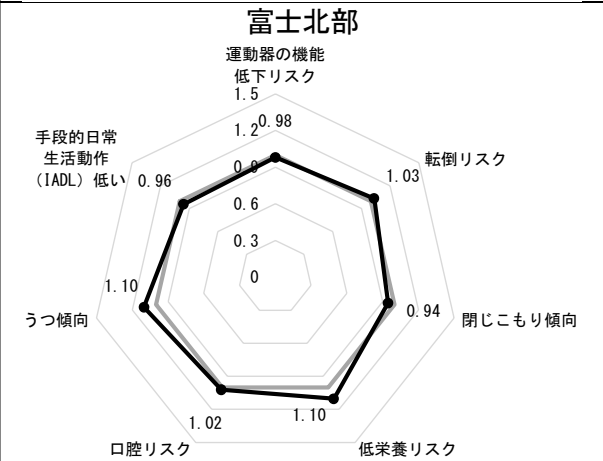
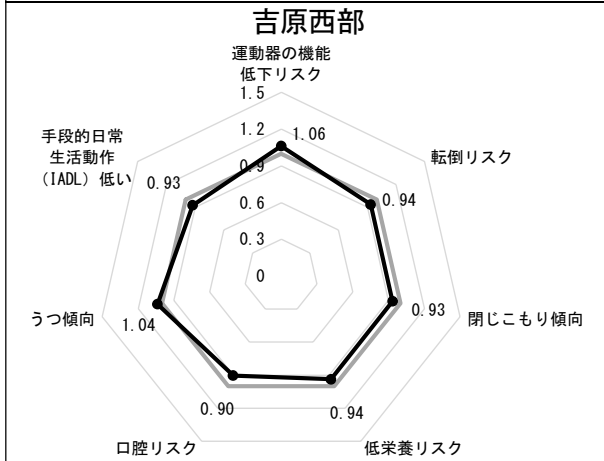
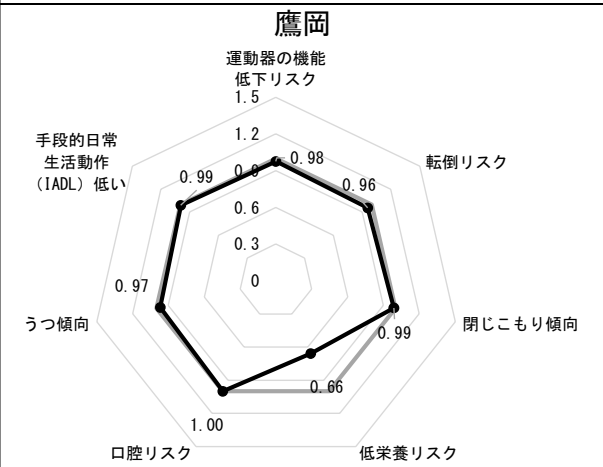
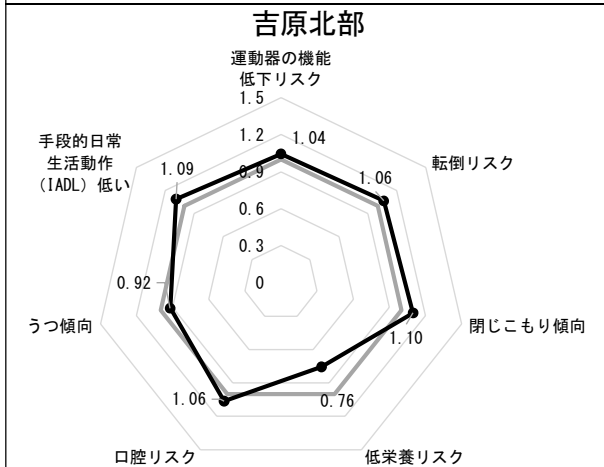
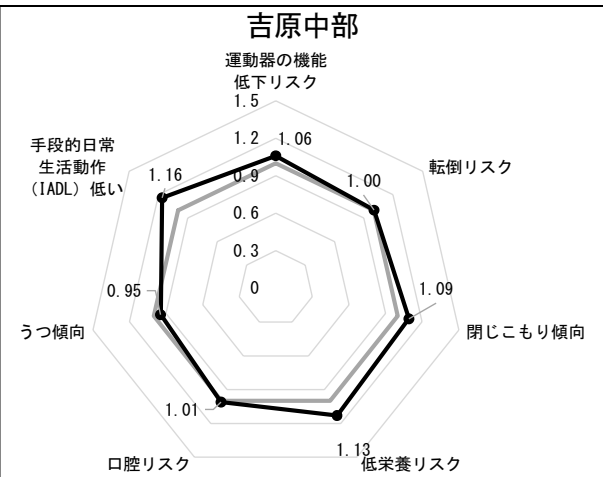
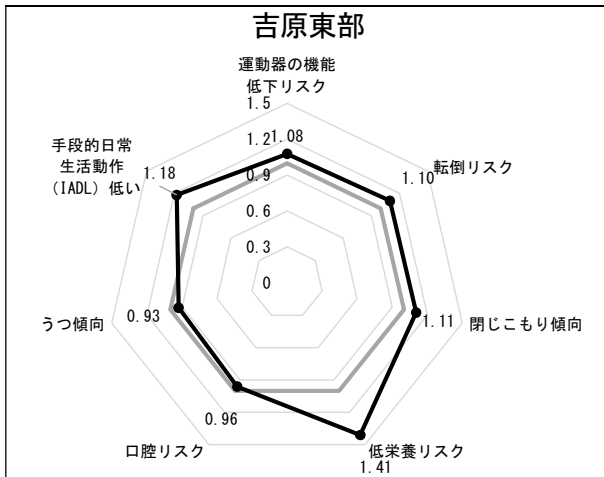
鷹岡では、「口腔リスク」が市と同率となっており、その他の6項目では市全体を下回っています。このうち、「低栄養リスク」では市全体を34%下回っています。

吉原西部では、「運動器の機能低下リスク」と「うつ傾向」が市全体を上回り、その他の5項目では市全体を下回っています。このうち、「口腔リスク」では市全体を10%下回っていますが、市全体を上回っている2項目では4~6%程度の差となっています。

富士北部では、「運動器の機能低下リスク」と「閉じこもり傾向」、「手段的日常生活動作(IADL)低い」が市全体を下回り、その他の4項目では市全体を上回っています。このうち、「低栄養リスク」と「うつ傾向」では市全体を10%上回っています。

富士南部では、「低栄養リスク」と「口腔リスク」が市全体を上回り、その他の5項目では市全体を下回っています。このうち、「転倒リスク」と「閉じこもり傾向」が12%、「運動器の機能低下リスク」が11%市全体を下回っています。

富士川では、「運動器の機能低下リスク」が市全体を下回り、その他の6項目では市全体を上回っています。このうち、「閉じこもり傾向」と「低栄養リスク」が市全体を18%上回っています。



II-2. 高齢者の生活状況等について

(1) 居宅の状況（3調査合算）

<全体的な傾向>

全体では、「一戸建ての持ち家」が85.3%と最も割合が高くなっています。また、「民間賃貸住宅」、「公営賃貸住宅」、「借間」を合わせた「賃貸・貸間」の居住者は8.7%みられます。

<日常生活圏域別の傾向>

各圏域とも、「一戸建ての持ち家」の割合が最も高くなっています。このうち、「吉原東部」と「吉原北部」、「鷹岡」、「富士川」の4圏域では90%を超えています、「吉原中部」と「吉原西部」、「富士北部」、「富士南部」の4圏域では80%台となっています。

<要介護状態別の傾向>

各区分とも、「一戸建ての持ち家」の割合が最も高くなっています。

なお、「賃貸・貸間」の居住者は、要支援・要介護等の認定を受けた高齢者にもみられ、「要支援1」、「要支援2」、「事業対象者」、「要介護5」で11~12%台となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	お住まい							無回答	賃貸・貸間
		一戸建ての持ち家	集合住宅の持ち家	民間賃貸住宅	公営賃貸住宅	借間	その他			
全体	4497 100.0	3838 85.3	93 2.1	261 5.8	104 2.3	27 0.6	59 1.3	115 2.6	392 8.7	
日常生活圏域別	吉原東部	423 100.0	395 93.4	1 0.2	18 4.3	3 0.7	2 0.5	3 0.7	1 0.2	23 5.4
	吉原中部	501 100.0	448 89.4	0 0.0	16 3.2	29 5.8	4 0.8	3 0.6	1 0.2	49 9.8
	吉原北部	602 100.0	545 90.5	6 1.0	19 3.2	23 3.8	0 0.0	7 1.2	2 0.3	42 7.0
	鷹岡	537 100.0	485 90.3	1 0.2	29 5.4	5 0.9	6 1.1	9 1.7	2 0.4	40 7.4
	吉原西部	648 100.0	539 83.2	33 5.1	54 8.3	3 0.5	5 0.8	12 1.9	2 0.3	62 9.6
	富士北部	605 100.0	510 84.3	18 3.0	51 8.4	13 2.1	5 0.8	7 1.2	1 0.2	69 11.4
	富士南部	688 100.0	557 81.0	27 3.9	56 8.1	24 3.5	4 0.6	16 2.3	4 0.6	84 12.2
	富士川	334 100.0	317 94.9	6 1.8	5 1.5	3 0.9	0 0.0	2 0.6	1 0.3	8 2.4
	要介護状態別	一般高齢者	2463 100.0	2112 85.7	55 2.2	139 5.6	40 1.6	11 0.4	24 1.0	82 3.3
要支援1		297 100.0	257 86.5	3 1.0	19 6.4	8 2.7	6 2.0	3 1.0	1 0.3	33 11.1
要支援2		459 100.0	386 84.1	10 2.2	33 7.2	20 4.4	3 0.7	5 1.1	2 0.4	56 12.2
事業対象者		90 100.0	72 80.0	4 4.4	10 11.1	0 0.0	1 1.1	3 3.3	0 0.0	11 12.2
いずれでもない		99 100.0	84 84.8	2 2.0	6 6.1	4 4.0	0 0.0	3 3.0	0 0.0	10 10.1
要支援・事業該当不明		63 100.0	43 68.3	3 4.8	8 12.7	6 9.5	3 4.8	0 0.0	0 0.0	17 27.0
要介護1		318 100.0	283 89.0	3 0.9	15 4.7	9 2.8	0 0.0	3 0.9	5 1.6	24 7.5
要介護2		250 100.0	218 87.2	3 1.2	11 4.4	7 2.8	1 0.4	7 2.8	3 1.2	19 7.6
要介護3		125 100.0	110 88.0	4 3.2	6 4.8	1 0.8	0 0.0	3 2.4	1 0.8	7 5.6
要介護4		101 100.0	91 90.1	1 1.0	3 3.0	1 1.0	0 0.0	3 3.0	2 2.0	4 4.0
要介護5		43 100.0	37 86.0	0 0.0	3 7.0	2 4.7	0 0.0	1 2.3	0 0.0	5 11.6
要介護度不明		36 100.0	33 91.7	1 2.8	0 0.0	2 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 5.6

(2) 世帯の状況

①一般高齢者、総合事業対象者・要支援認定者

<全体的な傾向>

全体では、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が29.6%で最も割合が高く、次いで「息子・娘との2世帯」が27.6%、「1人暮らし」が19.3%となっています。

<年齢階層別の傾向>

「64歳以下」では「その他」、「65～69歳」から「75～79歳」にかけて「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」、「80～84歳」以上では「息子・娘との2世帯」が最も割合が高くなっています。

<日常生活圏域別の傾向>

「吉原東部」では「息子・娘との2世帯」、その他の7地区では「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が最も割合が高くなっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	世帯類型						
		1人暮らし	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	息子・娘との2世帯	その他	無回答	
全体	3556 100.0	687 19.3	1051 29.6	90 2.5	982 27.6	605 17.0	141 4.0	
年齢階層別	64歳以下	4 100.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0
	65～69歳	450 100.0	65 14.4	123 27.3	45 10.0	96 21.3	115 25.6	6 1.3
	70～74歳	786 100.0	120 15.3	314 39.9	18 2.3	192 24.4	135 17.2	7 0.9
	75～79歳	732 100.0	137 18.7	268 36.6	11 1.5	193 26.4	116 15.8	7 1.0
	80～84歳	751 100.0	157 20.9	208 27.7	11 1.5	240 32.0	120 16.0	15 2.0
	85～89歳	468 100.0	134 28.6	88 18.8	3 0.6	163 34.8	61 13.0	19 4.1
	90歳以上	179 100.0	44 24.6	19 10.6	0 0.0	75 41.9	35 19.6	6 3.4
	日常生活圏域別	吉原東部	340 100.0	65 19.1	87 25.6	9 2.6	116 34.1	60 17.6
吉原中部		389 100.0	78 20.1	112 28.8	8 2.1	108 27.8	76 19.5	7 1.8
吉原北部		476 100.0	93 19.5	151 31.7	19 4.0	144 30.3	61 12.8	8 1.7
鷹岡		426 100.0	77 18.1	136 31.9	12 2.8	112 26.3	85 20.0	4 0.9
吉原西部		511 100.0	103 20.2	143 28.0	15 2.9	142 27.8	99 19.4	9 1.8
富士北部		471 100.0	98 20.8	154 32.7	7 1.5	124 26.3	81 17.2	7 1.5
富士南部		531 100.0	108 20.3	163 30.7	15 2.8	147 27.7	86 16.2	12 2.3
富士川		270 100.0	47 17.4	88 32.6	5 1.9	78 28.9	46 17.0	6 2.2

②要介護認定者

<全体的な傾向>

全体では、「その他」が58.4%と最も割合が高く、次いで「夫婦のみ世帯」が23.8%、「単身世帯（ひとり暮らし）」が14.9%となっています。

<年齢階層別の傾向>

各年齢層とも「その他」が最も割合が高くなっています。

また、「70～74歳」と「75～79歳」では「夫婦のみ世帯」が40%を超えています。

<日常生活圏域別の傾向>

各圏域とも「その他」が最も割合が高くなっています。

また、「単身世帯」は「鷹岡」を除くその他の7地区で10%を超えています。

さらに、「夫婦のみ世帯」は「吉原西部」を除くその他の7地区で20%を超えています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	世帯類型				
		単身世帯 (ひとり暮らし)	夫婦のみ世帯	その他	無回答	
全体	941 100.0	140 14.9	224 23.8	550 58.4	27 2.9	
年齢階層別	64歳以下	9 100.0	0 0.0	2 22.2	7 77.8	0 0.0
	65～69歳	6 100.0	1 16.7	2 33.3	3 50.0	0 0.0
	70～74歳	54 100.0	4 7.4	24 44.4	26 48.1	0 0.0
	75～79歳	124 100.0	14 11.3	50 40.3	58 46.8	2 1.6
	80～84歳	263 100.0	38 14.4	72 27.4	148 56.3	5 1.9
	85～89歳	272 100.0	45 16.5	53 19.5	171 62.9	3 1.1
	90歳以上	178 100.0	35 19.7	15 8.4	125 70.2	3 1.7
	日常生活圏域別	吉原東部	83 100.0	19 22.9	23 27.7	40 48.2
吉原中部		112 100.0	17 15.2	26 23.2	67 59.8	2 1.8
吉原北部		126 100.0	15 11.9	35 27.8	74 58.7	2 1.6
鷹岡		111 100.0	10 9.0	26 23.4	74 66.7	1 0.9
吉原西部		137 100.0	25 18.2	27 19.7	83 60.6	2 1.5
富士北部		134 100.0	23 17.2	33 24.6	77 57.5	1 0.7
富士南部		157 100.0	22 14.0	37 23.6	94 59.9	4 2.5
富士川		64 100.0	8 12.5	15 23.4	40 62.5	1 1.6

(3) 同居家族が全員 65 歳以上かについて (3 調査合算)

<全体的な傾向>

全体では、「はい」が 32.1%、「いいえ」が 47.1%となっています。

<日常生活圏域別の傾向>

「鷹岡」では「いいえ」が 50.7%と半数以上となっています。

また、「はい」が最も割合が高い「富士北部」では 35.0%、最も割合が低い「吉原東部」で 30.3%となっており、圏域別による大きな差はみられません。

<要介護状態別の傾向>

各区分とも「いいえ」が最も割合が高くなっています。

また、要介護認定を受けた高齢者では「いいえ」が 50%を超えており、特に「要介護 4」では 62.4%と高い割合となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	同居の家族全員が 65 歳以上か			
		はい	いいえ	無回答	
全体	4497 100.0	1443 32.1	2117 47.1	937 20.8	
日常生活圏域別	吉原東部	423 100.0	128 30.3	206 48.7	89 21.0
	吉原中部	501 100.0	158 31.5	244 48.7	99 19.8
	吉原北部	602 100.0	187 31.1	293 48.7	122 20.3
	鷹岡	537 100.0	170 31.7	272 50.7	95 17.7
	吉原西部	648 100.0	197 30.4	320 49.4	131 20.2
	富士北部	605 100.0	212 35.0	277 45.8	116 19.2
	富士南部	688 100.0	219 31.8	317 46.1	152 22.1
	富士川	334 100.0	116 34.7	141 42.2	77 23.1
	要介護状態別	一般高齢者	2463 100.0	897 36.4	1134 46.0
要支援 1		297 100.0	75 25.3	115 38.7	107 36.0
要支援 2		459 100.0	126 27.5	186 40.5	147 32.0
事業対象者		90 100.0	18 20.0	51 56.7	21 23.3
いずれでもない		99 100.0	23 23.2	42 42.4	34 34.3
要支援・事業該当不明		63 100.0	10 15.9	27 42.9	26 41.3
要介護 1		318 100.0	96 30.2	175 55.0	47 14.8
要介護 2		250 100.0	72 28.8	145 58.0	33 13.2
要介護 3		125 100.0	40 32.0	74 59.2	11 8.8
要介護 4		101 100.0	30 29.7	63 62.4	8 7.9
要介護 5		43 100.0	17 39.5	25 58.1	1 2.3
要介護度不明		36 100.0	10 27.8	20 55.6	6 16.7

(4) 同居家族の介護の有無について（一般高齢者、総合事業対象者・要支援認定者）

<全体的な傾向>

全体では、「いない」が78.0%、「いる」が9.2%となっています。

<年齢階層別の傾向>

「80～84歳」と「85～89歳」では「いる」が10%を超えています。

<日常生活圏域別の傾向>

各圏域とも「いない」が最も割合が高くなっています。

また、「吉原東部」と「吉原西部」、「富士北部」では「いる」が10%を超えています。

<要介護状態別の傾向>

「一般高齢者」と「事業対象者」では「いない」が80%を超えています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	同居家族の誰かを介護しているか			
		いない	いる	無回答	
全体	3556 100.0	2774 78.0	328 9.2	454 12.8	
年齢階層別	64歳以下	4 100.0	3 75.0	1 25.0	0 0.0
	65～69歳	450 100.0	366 81.3	39 8.7	45 10.0
	70～74歳	786 100.0	651 82.8	49 6.2	86 10.9
	75～79歳	732 100.0	584 79.8	62 8.5	86 11.7
	80～84歳	751 100.0	572 76.2	82 10.9	97 12.9
	85～89歳	468 100.0	327 69.9	56 12.0	85 18.2
	90歳以上	179 100.0	138 77.1	17 9.5	24 13.4
	日常生活圏域別	吉原東部	340 100.0	267 78.5	36 10.6
吉原中部		389 100.0	300 77.1	37 9.5	52 13.4
吉原北部		476 100.0	377 79.2	38 8.0	61 12.8
鷹岡		426 100.0	340 79.8	33 7.7	53 12.4
吉原西部		511 100.0	393 76.9	57 11.2	61 11.9
富士北部		471 100.0	365 77.5	47 10.0	59 12.5
富士南部		531 100.0	419 78.9	39 7.3	73 13.7
富士川		270 100.0	208 77.0	24 8.9	38 14.1
要介護状態別		一般高齢者	2463 100.0	2020 82.0	187 7.6
	要支援1	297 100.0	204 68.7	43 14.5	50 16.8
	要支援2	459 100.0	316 68.8	57 12.4	86 18.7
	事業対象者	90 100.0	72 80.0	8 8.9	10 11.1
	いずれでもない	99 100.0	73 73.7	12 12.1	14 14.1
	要支援・事業該当不明	63 100.0	46 73.0	4 6.3	13 20.6

(5) 前回の認定調査の判定について（総合事業対象者・要支援認定者、要介護認定者）

<全体的な傾向>

「初回認定」が18.6%と最も割合が高く、次いで「要支援2」が16.7%、「要支援1」が14.1%となっています。

<要介護状態別の傾向>

各区分とも、前回の認定調査判定と現在の要介護度が一致している傾向がみられます。

なお、「いずれでもない」では「初回認定」、「要支援・事業該当不明」では「覚えていない」が最も割合が高くなっています。

また、「要支援1」の回答者のうち、要介護2以上から軽減された回答者が7人みられます。同様に「要支援2」の回答者のうち、要介護2以上から軽減された回答者が44人みられます。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	前回の認定調査の判定											
		初回認定	要支援1	要支援2	事業対象者	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	覚えていない	無回答	
全体	2034 100.0	379 18.6	286 14.1	339 16.7	69 3.4	226 11.1	194 9.5	102 5.0	77 3.8	35 1.7	110 5.4	217 10.7	
要介護状態別	要支援1	297 100.0	75 25.3	152 51.2	32 10.8	3 1.0	15 5.1	2 0.7	2 0.7	3 1.0	0 0.0	5 1.7	8 2.7
	要支援2	459 100.0	64 13.9	65 14.2	243 52.9	3 0.7	16 3.5	31 6.8	9 2.0	4 0.9	0 0.0	10 2.2	14 3.1
	事業対象者	90 100.0	22 24.4	8 8.9	2 2.2	48 53.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 3.3	7 7.8
	いずれでもない	99 100.0	40 40.4	3 3.0	2 2.0	8 8.1	1 1.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.0	17 17.2	27 27.3
	要支援・事業該当不明	63 100.0	16 25.4	3 4.8	1 1.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	27 42.9	16 25.4
	要介護1	318 100.0	71 22.3	33 10.4	18 5.7	2 0.6	145 45.6	15 4.7	9 2.8	3 0.9	0 0.0	12 3.8	10 3.1
	要介護2	250 100.0	32 12.8	11 4.4	25 10.0	1 0.4	30 12.0	105 42.0	16 6.4	15 6.0	2 0.8	4 1.6	9 3.6
	要介護3	125 100.0	20 16.0	2 1.6	6 4.8	1 0.8	8 6.4	23 18.4	47 37.6	8 6.4	3 2.4	4 3.2	3 2.4
	要介護4	101 100.0	17 16.8	3 3.0	3 3.0	0 0.0	5 5.0	11 10.9	11 10.9	37 36.6	4 4.0	6 5.9	4 4.0
	要介護5	43 100.0	4 9.3	0 0.0	1 2.3	0 0.0	2 4.7	1 2.3	5 11.6	3 7.0	24 55.8	1 2.3	2 4.7
	要介護度不明	36 100.0	5 13.9	1 2.8	1 2.8	1 2.8	1 2.8	4 11.1	1 2.8	1 2.8	0 0.0	16 44.4	5 13.9

(6) 経済的に負担が大きいものについて

※経済的な困窮状況で「大変苦しい」+「やや苦しい」の回答者(1542人)のみ集計

<全体的な傾向>

経済的に最も負担が大きいものについて、「食費・光熱費・家賃等の生活費」が60.0%と最も割合が高く、次いで「医療費」が11.7%、「税金」が10.8%となっています。

<経済的状况別傾向>

「食費・光熱費・家賃等の生活費」が「大変苦しい」では63.8%、「やや苦しい」で59.1%と半数以上となっています。

なお、どの区分とも「大変苦しい」と「やや苦しい」に大きな差はみられません。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	経済的に最も負担の大きいもの						
		食費・光熱費・家賃等の生活費	医療費	介護サービス費	ローン等の負債の返済	税金	その他	無回答
全体	1542	925	180	105	61	167	61	43
	100.0	60.0	11.7	6.8	4.0	10.8	4.0	2.8
経済的な状況	大変苦しい	279	24	19	13	27	13	5
		100.0	63.8	8.6	6.8	4.7	9.7	4.7
やや苦しい	1263	747	156	86	48	140	48	38
	100.0	59.1	12.4	6.8	3.8	11.1	3.8	3.0

(7) 経済的な状況について (3 調査合算)

<全体的な傾向>

全体では、「ふつう」が 53.1%と最も割合が高く、次いで「やや苦しい」が 28.1%、「ややゆとりがある」が 7.4%となっています。

<居宅の種類別の傾向>

「一戸建ての持ち家」と「集合住宅の持ち家」、「借間」では「ふつう」、「民間賃貸住宅」と「公営賃貸住宅」、「その他」では「やや苦しい」が最も割合が高くなっています。

また、「民間賃貸住宅」と「公営賃貸住宅」では「大変苦しい+苦しい」がそれぞれ 62.4%、59.6%と比較的高い割合となっています。

<要介護状態別の傾向>

「要介護4」では「やや苦しい」、その他の区分では「ふつう」が最も割合が高くなっています。

また、「要介護4」では「大変苦しい+苦しい」が 54.4%と比較的高い割合となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	全体	経済的な状況						大変苦しい+苦しい	
		大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答		
合計	4497 100.0	279 6.2	1263 28.1	2386 53.1	335 7.4	44 1.0	190 4.2	1542 34.3	
居宅の種類別	一戸建ての持ち家	3838 100.0	169 4.4	1029 26.8	2145 55.9	305 7.9	43 1.1	147 3.8	1198 31.2
	集合住宅の持ち家	93 100.0	2 2.2	30 32.3	47 50.5	10 10.8	1 1.1	3 3.2	32 34.4
	民間賃貸住宅	261 100.0	65 24.9	98 37.5	73 28.0	8 3.1	0 0.0	17 6.5	163 62.5
	公営賃貸住宅	104 100.0	20 19.2	42 40.4	38 36.5	2 1.9	0 0.0	2 1.9	62 59.6
	借間	27 100.0	9 33.3	4 14.8	10 37.0	1 3.7	0 0.0	3 11.1	13 48.1
	その他	59 100.0	5 8.5	26 44.1	23 39.0	3 5.1	0 0.0	2 3.4	31 52.5
	無回答	115 100.0	9 7.8	34 29.6	50 43.5	6 5.2	0 0.0	16 13.9	43 37.4
	要介護状態別	一般高齢者	2463 100.0	157 6.4	660 26.8	1293 52.5	207 8.4	33 1.3	113 4.6
要支援1		297 100.0	20 6.7	77 25.9	175 58.9	17 5.7	2 0.7	6 2.0	97 32.7
要支援2		459 100.0	34 7.4	147 32.0	227 49.5	32 7.0	2 0.4	17 3.7	181 39.4
事業対象者		90 100.0	4 4.4	19 21.1	53 58.9	11 12.2	0 0.0	3 3.3	23 25.6
いずれでもない		99 100.0	2 2.0	21 21.2	68 68.7	5 5.1	1 1.0	2 2.0	23 23.2
要支援・事業該当不明		63 100.0	7 11.1	13 20.6	34 54.0	3 4.8	0 0.0	6 9.5	20 31.7
要介護1		318 100.0	14 4.4	89 28.0	187 58.8	23 7.2	3 0.9	2 0.6	103 32.4
要介護2		250 100.0	14 5.6	87 34.8	134 53.6	14 5.6	0 0.0	1 0.4	101 40.4
要介護3		125 100.0	8 6.4	42 33.6	67 53.6	7 5.6	1 0.8	0 0.0	50 40.0
要介護4		101 100.0	8 7.9	47 46.5	43 42.6	2 2.0	0 0.0	1 1.0	55 54.5
要介護5		43 100.0	2 4.7	18 41.9	21 48.8	2 4.7	0 0.0	0 0.0	20 46.5
要介護度不明		36 100.0	2 5.6	12 33.3	19 52.8	2 5.6	1 2.8	0 0.0	14 38.9

(8) 外出時の移動手段について (3 調査合算)

<全体的な傾向>

全体では「自動車 (人に乗せてもらう)」が 43.5%と最も割合が高く、次いで「徒歩」が 41.0%、「自動車 (自分で運転)」が 38.0%となっています。

<年齢階層別の傾向>

「64 歳以下」と「80～84 歳」以上では「自動車 (人に乗せてもらう)」、「65～69 歳」から「75～79 歳」にかけて「自動車 (自分で運転)」が最も割合が高くなっています。

また、「65～69 歳」から「75～79 歳」にかけて「自転車」が 10%以上となっており、「80～84 歳」以上では「タクシー」が 20%以上となっています。

<日常生活圏域別の傾向>

「吉原西部」では「徒歩」、「鷹岡」では「自動車 (自分で運転)」、その他の圏域では「自動車 (人に乗せてもらう)」が最も割合が高くなっています。

また、「吉原東部」では「電車」が 10%を超えており、比較的高い割合となっています。

<要介護状態別の傾向>

要支援・要介護認定を受けた方では「自動車 (人に乗せてもらう)」が最も割合が高くなっています。

また、「要介護 3」と「要介護 4」、「要介護 5」では「自転車」と「バイク」、「電車」「路線バス」の該当者がみられません。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	外出する際の移動手段											
		徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運 転)	自動車 (人に 乗せて もら う)	電車	路線バ ス	病院や 施設の バス	タクシ ー	その他	無回答	
全体	4497 100.0	1842 41.0	412 9.2	112 2.5	1710 38.0	1955 43.5	227 5.0	304 6.8	180 4.0	781 17.4	102 2.3	365 8.1	
年齢 階層 別	64 歳以下	13 100.0	3 23.1	0 0.0	0 0.0	1 7.7	6 46.2	0 0.0	1 7.7	0 0.0	0 0.0	1 7.7	4 30.8
	65～69 歳	456 100.0	231 50.7	51 11.2	22 4.8	339 74.3	114 25.0	33 7.2	22 4.8	5 1.1	18 3.9	3 0.7	20 4.4
	70～74 歳	840 100.0	390 46.4	103 12.3	43 5.1	558 66.4	254 30.2	52 6.2	37 4.4	14 1.7	55 6.5	2 0.2	42 5.0
	75～79 歳	856 100.0	377 44.0	113 13.2	24 2.8	381 44.5	338 39.5	51 6.0	61 7.1	30 3.5	138 16.1	18 2.1	48 5.6
	80～84 歳	1014 100.0	420 41.4	74 7.3	15 1.5	265 26.1	513 50.6	51 5.0	86 8.5	57 5.6	243 24.0	31 3.1	76 7.5
	85～89 歳	740 100.0	259 35.0	38 5.1	2 0.3	73 9.9	411 55.5	29 3.9	61 8.2	40 5.4	209 28.2	30 4.1	92 12.4
	90 歳以上	357 100.0	83 23.2	9 2.5	1 0.3	7 2.0	235 65.8	2 0.6	17 4.8	27 7.6	78 21.8	16 4.5	57 16.0
日 常 生 活 圏 域 別	吉原東部	423 100.0	177 41.8	38 9.0	16 3.8	171 40.4	187 44.2	52 12.3	15 3.5	17 4.0	65 15.4	8 1.9	30 7.1
	吉原中部	501 100.0	175 34.9	18 3.6	14 2.8	185 36.9	236 47.1	20 4.0	53 10.6	16 3.2	90 18.0	12 2.4	36 7.2
	吉原北部	602 100.0	213 35.4	7 1.2	13 2.2	249 41.4	269 44.7	11 1.8	52 8.6	33 5.5	98 16.3	16 2.7	50 8.3
	鷹岡	537 100.0	223 41.5	21 3.9	19 3.5	231 43.0	228 42.5	30 5.6	23 4.3	24 4.5	91 16.9	10 1.9	41 7.6
	吉原西部	648 100.0	305 47.1	50 7.7	14 2.2	234 36.1	291 44.9	14 2.2	59 9.1	18 2.8	135 20.8	19 2.9	40 6.2

	富士北部	605	268	94	10	221	270	36	24	24	110	14	50
		100.0	44.3	15.5	1.7	36.5	44.6	6.0	4.0	4.0	18.2	2.3	8.3
	富士南部	688	287	131	14	233	291	30	38	30	120	14	66
		100.0	41.7	19.0	2.0	33.9	42.3	4.4	5.5	4.4	17.4	2.0	9.6
	富士川	334	139	28	7	117	141	32	27	14	50	7	32
		100.0	41.6	8.4	2.1	35.0	42.2	9.6	8.1	4.2	15.0	2.1	9.6
要介護状態別	一般高齢者	2463	1265	354	104	1541	742	164	168	21	227	22	77
		100.0	51.4	14.4	4.2	62.6	30.1	6.7	6.8	0.9	9.2	0.9	3.1
	要支援1	297	113	11	3	34	194	14	33	26	124	14	7
		100.0	38.0	3.7	1.0	11.4	65.3	4.7	11.1	8.8	41.8	4.7	2.4
	要支援2	459	129	9	2	49	327	14	32	46	180	21	10
		100.0	28.1	2.0	0.4	10.7	71.2	3.1	7.0	10.0	39.2	4.6	2.2
	事業対象者	90	46	7	0	18	54	8	13	4	31	3	2
		100.0	51.1	7.8	0.0	20.0	60.0	8.9	14.4	4.4	34.4	3.3	2.2
	いずれでもない	99	53	7	1	17	46	7	14	9	37	4	4
		100.0	53.5	7.1	1.0	17.2	46.5	7.1	14.1	9.1	37.4	4.0	4.0
	要支援・事業該当不明	63	23	5	0	16	29	2	7	4	24	3	0
		100.0	36.5	7.9	0.0	25.4	46.0	3.2	11.1	6.3	38.1	4.8	0.0
	要介護1	318	92	6	1	12	181	6	10	15	43	8	71
	100.0	28.9	1.9	0.3	3.8	56.9	1.9	3.1	4.7	13.5	2.5	22.3	
要介護2	250	49	1	0	3	159	5	10	26	39	6	55	
	100.0	19.6	0.4	0.0	1.2	63.6	2.0	4.0	10.4	15.6	2.4	22.0	
要介護3	125	13	0	0	1	71	0	0	11	10	4	45	
	100.0	10.4	0.0	0.0	0.8	56.8	0.0	0.0	8.8	8.0	3.2	36.0	
要介護4	101	4	0	0	1	51	0	0	5	3	8	40	
	100.0	4.0	0.0	0.0	1.0	50.5	0.0	0.0	5.0	3.0	7.9	39.6	
要介護5	43	1	0	0	0	14	0	0	1	6	4	22	
	100.0	2.3	0.0	0.0	0.0	32.6	0.0	0.0	2.3	14.0	9.3	51.2	
要介護度不明	36	16	5	0	5	15	1	2	3	12	3	3	
	100.0	44.4	13.9	0.0	13.9	41.7	2.8	5.6	8.3	33.3	8.3	8.3	

II-3. 健康状態について

(1) 低体重・肥満の状況について（一般高齢者、総合事業対象者・要支援認定者）

<全体的な傾向>

全体では、「普通体重」が63.4%と最も割合が高くなっています。

<年齢階層別の傾向>

各年齢層とも「普通体重」が最も割合が高く、半数を超えています。

なお、「75～79歳」以上の年齢層では「低体重」が10%を超えています。

<性別の傾向>

「女性」では「低体重」、「男性」では「肥満」が比較的高い傾向がみられます。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	BMI				
		低体重	普通体重	肥満	無回答	
全体	3556 100.0	364 10.2	2254 63.4	653 18.4	285 8.0	
年齢階層別	64歳以下	4 100.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	2 50.0
	65～69歳	450 100.0	35 7.8	293 65.1	108 24.0	14 3.1
	70～74歳	786 100.0	59 7.5	532 67.7	158 20.1	37 4.7
	75～79歳	732 100.0	83 11.3	467 63.8	135 18.4	47 6.4
	80～84歳	751 100.0	79 10.5	478 63.6	135 18.0	59 7.9
	85～89歳	468 100.0	65 13.9	269 57.5	71 15.2	63 13.5
	90歳以上	179 100.0	29 16.2	106 59.2	15 8.4	29 16.2
性別	男性	1386 100.0	101 7.3	911 65.7	293 21.1	81 5.8
	女性	2065 100.0	255 12.3	1281 62.0	346 16.8	183 8.9

(2) 健康状態について (3 調査合算)

<全体的な傾向>

全体では、「まあよい」が 59.5%と最も割合が高く、次いで「あまりよくない」が 24.7%、「とてもよい」が 6.2%となっています。

<年齢階層別の傾向>

各年齢層とも「まあよい」が最も割合が高くなっています。

また、「75～79 歳」以上の後期高齢者では「あまりよくない」が 20%を超えています。

<日常生活圏域別の傾向>

「鷹岡」と「富士北部」、「富士川」では「まあよい」が 60%を超えています。

その他の 5 地区でも 50%以上となっています。

<要介護状態別の傾向>

「要支援 2」と「要介護 5」では「あまりよくない」、その他の区分では「まあよい」が最も割合が高くなっています。

また、「要介護 5」では「とてもよい」の該当者はみられません。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	健康状態					
		とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	
全体	4497 100.0	281 6.2	2675 59.5	1110 24.7	204 4.5	227 5.0	
年齢階層別	64 歳以下	13 100.0	0 0.0	8 61.5	3 23.1	2 15.4	0 0.0
	65～69 歳	456 100.0	44 9.6	319 70.0	63 13.8	11 2.4	19 4.2
	70～74 歳	840 100.0	82 9.8	555 66.1	152 18.1	17 2.0	34 4.0
	75～79 歳	856 100.0	57 6.7	511 59.7	207 24.2	39 4.6	42 4.9
	80～84 歳	1014 100.0	46 4.5	550 54.2	303 29.9	66 6.5	49 4.8
	85～89 歳	740 100.0	33 4.5	398 53.8	228 30.8	42 5.7	39 5.3
	90 歳以上	357 100.0	8 2.2	217 60.8	101 28.3	18 5.0	13 3.6
	日常生活圏域別	吉原東部	423 100.0	38 9.0	240 56.7	100 23.6	27 6.4
吉原中部		501 100.0	25 5.0	297 59.3	136 27.1	22 4.4	21 4.2
吉原北部		602 100.0	36 6.0	356 59.1	152 25.2	22 3.7	36 6.0
鷹岡		537 100.0	22 4.1	338 62.9	137 25.5	21 3.9	19 3.5
吉原西部		648 100.0	50 7.7	368 56.8	174 26.9	29 4.5	27 4.2
富士北部		605 100.0	40 6.6	378 62.5	140 23.1	26 4.3	21 3.5
富士南部		688 100.0	42 6.1	407 59.2	165 24.0	37 5.4	37 5.4
富士川		334 100.0	19 5.7	203 60.8	72 21.6	14 4.2	26 7.8
要介護状態別		一般高齢者	2463 100.0	229 9.3	1639 66.5	414 16.8	46 1.9
	要支援 1	297 100.0	6 2.0	140 47.1	124 41.8	18 6.1	9 3.0
	要支援 2	459 100.0	5 1.1	186 40.5	200 43.6	49 10.7	19 4.1

事業対象者	90	3	55	26	3	3
	100.0	3.3	61.1	28.9	3.3	3.3
いずれでもない	99	5	57	27	5	5
	100.0	5.1	57.6	27.3	5.1	5.1
要支援・事業該当不明	63	2	32	21	8	0
	100.0	3.2	50.8	33.3	12.7	0.0
要介護1	318	16	186	82	18	16
	100.0	5.0	58.5	25.8	5.7	5.0
要介護2	250	5	133	85	20	7
	100.0	2.0	53.2	34.0	8.0	2.8
要介護3	125	3	79	33	9	1
	100.0	2.4	63.2	26.4	7.2	0.8
要介護4	101	3	54	31	8	5
	100.0	3.0	53.5	30.7	7.9	5.0
要介護5	43	0	17	21	5	0
	100.0	0.0	39.5	48.8	11.6	0.0
要介護度不明	36	2	18	12	2	2
	100.0	5.6	50.0	33.3	5.6	5.6

(3) 経済的状況別の健康状態について（3調査合算）

どの区分とも「まあよい」が最も割合が高くなっています。

また、「とてもよい」が「ややゆとりがある」では10.4%、「大変ゆとりがある」で22.7%と比較的高い割合となっています。その一方で、「あまりよくない」が「大変苦しい」では34.8%、「やや苦しい」で32.4%と30%を超えています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	健康状態					
		とてもよい	まあよい	あまりよくない	よくない	無回答	
全体	4497	281	2675	1110	204	227	
	100.0	6.2	59.5	24.7	4.5	5.0	
経済的な状況	大変苦しい	279	17	132	97	20	13
		100.0	6.1	47.3	34.8	7.2	4.7
	やや苦しい	1263	47	672	409	82	53
		100.0	3.7	53.2	32.4	6.5	4.2
	ふつう	2386	157	1526	512	84	107
	100.0	6.6	64.0	21.5	3.5	4.5	
ややゆとりがある	335	35	221	55	9	15	
	100.0	10.4	66.0	16.4	2.7	4.5	
大変ゆとりがある	44	10	26	5	1	2	
	100.0	22.7	59.1	11.4	2.3	4.5	

II-4. 介護予防活動の状況について（一般高齢者、総合事業対象者・要支援認定者）

（1）介護予防の取り組みについて

<全体的な傾向>

全体では、「ある」が50.5%、「ない」が44.8%となっており、半数以上が介護予防に取り組んでいます。

<年齢階層別の傾向>

「70～74歳」以下の前期高齢者を含む年齢層では「ない」、「75～79歳」以上の後期高齢者では「ある」が最も割合が高くなっています。

<要介護状態別の傾向>

「一般高齢者」と「要支援・事業該当不明」では「ない」、その他の区分では「ある」が最も割合が高くなっています。

<経済的な状況別の傾向>

「大変苦しい」と「大変ゆとりがある」では「ない」、その他の区分では「ある」が最も割合が高くなっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	介護予防の取り組み			
		ある	ない	無回答	
全体	3556 100.0	1797 50.5	1592 44.8	167 4.7	
年齢階層別	64歳以下	4 100.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0
	65～69歳	450 100.0	203 45.1	235 52.2	12 2.7
	70～74歳	786 100.0	352 44.8	409 52.0	25 3.2
	75～79歳	732 100.0	372 50.8	331 45.2	29 4.0
	80～84歳	751 100.0	406 54.1	306 40.7	39 5.2
	85～89歳	468 100.0	267 57.1	170 36.3	31 6.6
	90歳以上	179 100.0	115 64.2	57 31.8	7 3.9
	要介護状態別	一般高齢者	2463 100.0	1120 45.5	1246 50.6
要支援1		297 100.0	183 61.6	96 32.3	18 6.1
要支援2		459 100.0	291 63.4	142 30.9	26 5.7
事業対象者		90 100.0	73 81.1	16 17.8	1 1.1
いずれでもない		99 100.0	57 57.6	34 34.3	8 8.1
要支援・事業該当不明		63 100.0	26 41.3	35 55.6	2 3.2
経済的な状況		大変苦しい	229 100.0	87 38.0	127 55.5
	やや苦しい	960 100.0	492 51.3	430 44.8	38 4.0
	ふつう	1887 100.0	968 51.3	847 44.9	72 3.8
	ややゆとりがある	280 100.0	160 57.1	104 37.1	16 5.7
	大変ゆとりがある	39 100.0	18 46.2	19 48.7	2 5.1

(2) 介護予防講座・教室への参加条件について

<全体的な傾向>

全体では、「気軽に歩いて行ける会場で開催している」が 41.8%と最も割合が高く、次いで「参加費が無料」が 39.6%、「希望の曜日・時間で開催している」が 28.5%となっています。

<年齢階層別の傾向>

「64歳以下」と「85～89歳」以上では「送迎をしてくれる」、「65～69歳」では「参加費が無料」、「70～74歳」から「80～84歳」にかけて「気軽に歩いて行ける会場で開催している」が最も割合が高くなっています。

<要介護状態別の傾向>

「一般高齢者」では「気軽に歩いて行ける会場で開催している」、その他の区分では「送迎をしてくれる」が最も割合が高くなっています。

また、「いずれでもない」では「友人・知人と一緒に参加できる」が 23.2%と比較的高い割合となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	どのような条件で介護予防の講座・教室に参加したいか							
		気軽に歩いて行ける会場で開催している	送迎をしてくれる	希望の曜日・時間で開催している	友人、知人と一緒に参加できる	参加費が無料	その他	無回答	
全体	3556 100.0	1486 41.8	990 27.8	1015 28.5	591 16.6	1408 39.6	231 6.5	693 19.5	
年齢階層別	64歳以下	4 100.0	0 0.0	4 100.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0
	65～69歳	450 100.0	213 47.3	47 10.4	180 40.0	80 17.8	227 50.4	24 5.3	71 15.8
	70～74歳	786 100.0	356 45.3	117 14.9	282 35.9	122 15.5	340 43.3	58 7.4	137 17.4
	75～79歳	732 100.0	340 46.4	184 25.1	203 27.7	130 17.8	301 41.1	43 5.9	146 19.9
	80～84歳	751 100.0	321 42.7	280 37.3	179 23.8	131 17.4	286 38.1	47 6.3	148 19.7
	85～89歳	468 100.0	150 32.1	224 47.9	94 20.1	74 15.8	145 31.0	31 6.6	103 22.0
	90歳以上	179 100.0	36 20.1	93 52.0	34 19.0	32 17.9	38 21.2	18 10.1	37 20.7
要介護状態別	一般高齢者	2463 100.0	1196 48.6	405 16.4	757 30.7	426 17.3	1052 42.7	162 6.6	458 18.6
	要支援1	297 100.0	88 29.6	161 54.2	61 20.5	52 17.5	94 31.6	20 6.7	59 19.9
	要支援2	459 100.0	95 20.7	267 58.2	119 25.9	50 10.9	157 34.2	32 7.0	97 21.1
	事業対象者	90 100.0	36 40.0	47 52.2	31 34.4	16 17.8	35 38.9	3 3.3	14 15.6
	いずれでもない	99 100.0	36 36.4	46 46.5	23 23.2	23 23.2	30 30.3	7 7.1	21 21.2
	要支援・事業該当不明	63 100.0	17 27.0	32 50.8	9 14.3	11 17.5	22 34.9	4 6.3	16 25.4

(3) 「参加者」としての参加意向について

<全体的な傾向>

全体では、「参加してもよい」と「参加したくない」がともに 39.3%と最も割合が高くなっています。

<年齢階層別の傾向>

「64歳以下」と「80～84歳」以上の年齢層では「参加したくない」、「65～69歳」から「75～79歳」にかけて「参加してもよい」が最も割合が高くなっています。

<日常生活圏域別の傾向>

「吉原東部」と「吉原北部」、「富士南部」では「参加したくない」、その他の圏域では「参加してもよい」が最も割合が高くなっています。

<要介護状態別の傾向>

「要支援1」と「要支援2」、「要支援・事業該当不明」では「参加したくない」、その他の区分では「参加してもよい」が最も割合が高くなっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	「参加者」としての参加意向					
		是非参加しない	参加してもよい	参加したくない	既に参加している	無回答	
全体	3556 100.0	213 6.0	1399 39.3	1396 39.3	115 3.2	433 12.2	
年齢階層別	64歳以下	4 100.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0
	65～69歳	450 100.0	22 4.9	209 46.4	170 37.8	11 2.4	38 8.4
	70～74歳	786 100.0	42 5.3	356 45.3	307 39.1	20 2.5	61 7.8
	75～79歳	732 100.0	54 7.4	295 40.3	287 39.2	25 3.4	71 9.7
	80～84歳	751 100.0	44 5.9	288 38.3	296 39.4	30 4.0	93 12.4
	85～89歳	468 100.0	37 7.9	144 30.8	186 39.7	20 4.3	81 17.3
	90歳以上	179 100.0	6 3.4	43 24.0	81 45.3	5 2.8	44 24.6
日常生活圏域別	吉原東部	340 100.0	19 5.6	111 32.6	144 42.4	13 3.8	53 15.6
	吉原中部	389 100.0	26 6.7	156 40.1	152 39.1	12 3.1	43 11.1
	吉原北部	476 100.0	29 6.1	175 36.8	204 42.9	18 3.8	50 10.5
	鷹岡	426 100.0	22 5.2	178 41.8	166 39.0	11 2.6	49 11.5
	吉原西部	511 100.0	26 5.1	209 40.9	206 40.3	10 2.0	60 11.7
	富士北部	471 100.0	39 8.3	206 43.7	162 34.4	17 3.6	47 10.0
	富士南部	531 100.0	28 5.3	202 38.0	217 40.9	16 3.0	68 12.8
	富士川	270 100.0	14 5.2	115 42.6	97 35.9	15 5.6	29 10.7
要介護状態別	一般高齢者	2463 100.0	136 5.5	1083 44.0	919 37.3	87 3.5	238 9.7
	要支援1	297 100.0	21 7.1	82 27.6	140 47.1	6 2.0	48 16.2
	要支援2	459 100.0	28 6.1	121 26.4	223 48.6	3 0.7	84 18.3
	事業対象者	90 100.0	6 6.7	46 51.1	28 31.1	5 5.6	5 5.6
	いずれでもない	99 100.0	12 12.1	38 38.4	27 27.3	5 5.1	17 17.2
	要支援・事業該当不明	63 100.0	4 6.3	15 23.8	30 47.6	4 6.3	10 15.9

(4) 企画・運営としての参加意向について

＜全体的な傾向＞

全体では、「参加したくない」が59.0%と最も割合が高くなっています。

＜年齢階層別の傾向＞

各年齢層とも「参加したくない」が最も割合が高くなっています。

また、年齢層が上がるにつれて「参加してもよい」の割合が低くなっています。

＜日常生活圏域別の傾向＞

どの圏域とも「参加したくない」が最も割合が高くなっています。

また、「参加してもよい」は各地区とも20%台となっています。

＜要介護状態別の傾向＞

各区分とも「参加したくない」が最も割合が高くなっています。

また、「要支援1」と「要支援2」、「要支援・事業該当不明」では「参加してもよい」が10%台となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	「企画・運営（お世話役）」としての参加意向					
		是非参加した い	参加してもよ い	参加したくな い	既に参加して いる	無回答	
全体	3556 100.0	75 2.1	846 23.8	2097 59.0	75 2.1	463 13.0	
年齢階層別	64歳以下	4 100.0	0 0.0	0 0.0	3 75.0	0 0.0	1 25.0
	65～69歳	450 100.0	11 2.4	123 27.3	271 60.2	7 1.6	38 8.4
	70～74歳	786 100.0	13 1.7	235 29.9	455 57.9	18 2.3	65 8.3
	75～79歳	732 100.0	12 1.6	189 25.8	443 60.5	13 1.8	75 10.2
	80～84歳	751 100.0	19 2.5	155 20.6	452 60.2	22 2.9	103 13.7
	85～89歳	468 100.0	13 2.8	85 18.2	273 58.3	6 1.3	91 19.4
	90歳以上	179 100.0	5 2.8	19 10.6	111 62.0	3 1.7	41 22.9
日常生活圏域別	吉原東部	340 100.0	5 1.5	68 20.0	203 59.7	8 2.4	56 16.5
	吉原中部	389 100.0	6 1.5	96 24.7	228 58.6	9 2.3	50 12.9
	吉原北部	476 100.0	13 2.7	114 23.9	294 61.8	9 1.9	46 9.7
	鷹岡	426 100.0	7 1.6	96 22.5	260 61.0	10 2.3	53 12.4
	吉原西部	511 100.0	11 2.2	116 22.7	312 61.1	5 1.0	67 13.1
	富士北部	471 100.0	17 3.6	127 27.0	264 56.1	13 2.8	50 10.6
	富士南部	531 100.0	7 1.3	127 23.9	315 59.3	8 1.5	74 13.9
	富士川	270 100.0	4 1.5	73 27.0	153 56.7	9 3.3	31 11.5
要介護状態別	一般高齢者	2463 100.0	45 1.8	677 27.5	1420 57.7	62 2.5	259 10.5
	要支援1	297 100.0	5 1.7	45 15.2	191 64.3	2 0.7	54 18.2
	要支援2	459 100.0	13 2.8	55 12.0	303 66.0	3 0.7	85 18.5
	事業対象者	90 100.0	2 2.2	24 26.7	51 56.7	3 3.3	10 11.1
	いずれでもない	99 100.0	4 4.0	27 27.3	48 48.5	3 3.0	17 17.2
	要支援・事業該当不明	63 100.0	3 4.8	7 11.1	42 66.7	2 3.2	9 14.3

II-5. 自動車の運転について（一般高齢者、総合事業対象者・要支援認定者）

（1）日頃の自動車運転の目的について

<全体的な傾向>

全体では、「買い物のため」が43.6%と最も割合が高く、次いで「病院や診療所に通うため」が36.2%、「運転免許証を持っていない（または既に返納した）」が31.9%となっています。

<年齢階層別の傾向>

「64歳以下」と「80～84歳」以上の年齢層では「運転免許証を持っていない（または既に返納した）」、「65～69歳」から「75～79歳」にかけて「買い物のため」が最も割合が高くなっています。

また、「65～69歳」では「仕事や通勤のため」が39.1%と比較的高い割合となっています。

<要介護度状態別の傾向>

「一般高齢者」では「買い物のため」、その他の区分では「運転免許証を持っていない（または既に返納した）」が最も割合が高くなっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	日頃何のために自動車を運転するか									
		買い物のため	病院や診療所に通うため	家族などの送迎のため	仕事や通勤のため	趣味で使用するため	運転免許証は持っているが、運転していない	運転免許証を持っていない（または既に返納した）	その他	無回答	
全体	3556 100.0	1549 43.6	1289 36.2	575 16.2	542 15.2	623 17.5	115 3.2	1136 31.9	77 2.2	509 14.3	
年齢階層別	64歳以下	4 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	1 25.0	1 25.0	
	65～69歳	450 100.0	300 66.7	216 48.0	106 23.6	176 39.1	130 28.9	24 5.3	49 10.9	7 1.6	31 6.9
	70～74歳	786 100.0	511 65.0	407 51.8	210 26.7	218 27.7	225 28.6	26 3.3	128 16.3	9 1.1	55 7.0
	75～79歳	732 100.0	353 48.2	314 42.9	125 17.1	77 10.5	137 18.7	28 3.8	223 30.5	16 2.2	76 10.4
	80～84歳	751 100.0	235 31.3	220 29.3	85 11.3	38 5.1	87 11.6	17 2.3	312 41.5	16 2.1	145 19.3
	85～89歳	468 100.0	70 15.0	62 13.2	21 4.5	9 1.9	14 3.0	10 2.1	252 53.8	19 4.1	115 24.6
	90歳以上	179 100.0	6 3.4	6 3.4	1 0.6	1 0.6	2 1.1	3 1.7	112 62.6	6 3.4	51 28.5
要介護状態別	一般高齢者	2463 100.0	1410 57.2	1151 46.7	551 22.4	529 21.5	588 23.9	67 2.7	532 21.6	42 1.7	259 10.5
	要支援1	297 100.0	31 10.4	32 10.8	4 1.3	2 0.7	5 1.7	14 4.7	169 56.9	8 2.7	71 23.9
	要支援2	459 100.0	46 10.0	48 10.5	8 1.7	0 0.0	12 2.6	25 5.4	270 58.8	16 3.5	93 20.3
	事業対象者	90 100.0	19 21.1	18 20.0	6 6.7	5 5.6	6 6.7	4 4.4	51 56.7	3 3.3	13 14.4
	いずれでもない	99 100.0	18 18.2	17 17.2	4 4.0	3 3.0	7 7.1	4 4.0	51 51.5	2 2.0	22 22.2
	要支援・事業該当不明	63 100.0	16 25.4	14 22.2	0 0.0	2 3.2	3 4.8	1 1.6	27 42.9	2 3.2	16 25.4

(2) 運転免許の返納について

※前問を「運転免許証を持っていない(または既に返納した)」と「その他」以外で回答した方(1855人)のみ集計
 <全体的な傾向>

全体では、「返納は考えていない」が57.0%と最も割合が高く、次いで「返納したい(返納時期は未定)」が30.7%、「返納したい(返納時期は決まっている)」が5.1%となっています。

<年齢階層別の傾向>

各年齢層とも「返納は考えていない」が最も割合が高くなっています。

また、「80～84歳」以上の年齢層では「返納したい(返納時期は決まっている)」が10%を超えています。

<日常生活圏域別の傾向>

各圏域とも「返納は考えていない」が最も割合が高くなっています。なお、「吉原東部」と「吉原中部」では60%台、その他の6地区では50%台となっています。

<要介護状態別の傾向>

各区分とも「返納は考えていない」が最も割合が高くなっています。なお、「一般高齢者」と「事業対象者」では50%を超えています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	運転免許の返納について					非該当	
		返納したい (返納時期は決 まっている)	返納したい (返納時期は 未定)	返納は考えて いない	その他	無回答		
全体	1855 100.0	94 5.1	570 30.7	1058 57.0	48 2.6	85 4.6	1701	
年齢階層別	65～69歳	367 100.0	5 1.4	104 28.3	239 65.1	6 1.6	13 3.5	83
	70～74歳	599 100.0	16 2.7	191 31.9	354 59.1	16 2.7	22 3.7	187
	75～79歳	423 100.0	20 4.7	136 32.2	234 55.3	7 1.7	26 6.1	309
	80～84歳	281 100.0	34 12.1	84 29.9	135 48.0	14 5.0	14 5.0	470
	85～89歳	84 100.0	13 15.5	27 32.1	36 42.9	3 3.6	5 6.0	384
	90歳以上	10 100.0	1 10.0	1 10.0	7 70.0	0 0.0	1 10.0	169
日常生活圏域別	吉原東部	162 100.0	8 4.9	44 27.2	98 60.5	4 2.5	8 4.9	178
	吉原中部	203 100.0	13 6.4	51 25.1	123 60.6	7 3.4	9 4.4	186
	吉原北部	271 100.0	14 5.2	80 29.5	161 59.4	2 0.7	14 5.2	205
	鷹岡	246 100.0	15 6.1	77 31.3	136 55.3	9 3.7	9 3.7	180
	吉原西部	246 100.0	11 4.5	84 34.1	134 54.5	10 4.1	7 2.8	265
	富士北部	249 100.0	10 4.0	86 34.5	133 53.4	4 1.6	16 6.4	222
	富士南部	267 100.0	14 5.2	79 29.6	151 56.6	10 3.7	13 4.9	264
	富士川	135 100.0	5 3.7	47 34.8	78 57.8	0 0.0	5 3.7	135
	要介護状態別	一般高齢者	1648 100.0	63 3.8	502 30.5	972 59.0	37 2.2	74 4.5
要支援1		50 100.0	7 14.0	19 38.0	19 38.0	3 6.0	2 4.0	247
要支援2		80 100.0	12 15.0	27 33.8	36 45.0	3 3.8	2 2.5	379
事業対象者		23 100.0	2 8.7	6 26.1	13 56.5	1 4.3	1 4.3	67
いずれでもない		24 100.0	5 20.8	7 29.2	9 37.5	2 8.3	1 4.2	75
要支援・事業該当不明		19 100.0	4 21.1	5 26.3	6 31.6	1 5.3	3 15.8	44

Ⅱ-6. 認知症施策について（3調査合算）

（1）認知症に関する相談窓口の認知について

<全体的な傾向>

全体では、「はい」が14.4%、「いいえ」が69.3%となっており、認知症に関する相談窓口を知らない方が半数以上となっています。

<要介護状態別の傾向>

各区分とも「いいえ」の割合が高く、要支援・要介護認定者の区分に関わらず60%を超えています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	認知症に関する相談窓口について知っているか			
		はい	いいえ	無回答	
全体	4497 100.0	649 14.4	3118 69.3	730 16.2	
要介護状態別	一般高齢者	2463 100.0	318 12.9	1756 71.3	389 15.8
	要支援1	297 100.0	47 15.8	207 69.7	43 14.5
	要支援2	459 100.0	67 14.6	317 69.1	75 16.3
	事業対象者	90 100.0	19 21.1	58 64.4	13 14.4
	いずれでもない	99 100.0	16 16.2	66 66.7	17 17.2
	要支援・事業該当不明	63 100.0	8 12.7	46 73.0	9 14.3
	要介護1	318 100.0	56 17.6	205 64.5	57 17.9
	要介護2	250 100.0	52 20.8	169 67.6	29 11.6
	要介護3	125 100.0	21 16.8	89 71.2	15 12.0
	要介護4	101 100.0	17 16.8	73 72.3	11 10.9
	要介護5	43 100.0	9 20.9	30 69.8	4 9.3
	要介護度不明	36 100.0	4 11.1	17 47.2	15 41.7

(2) 自身や家族が認知症と感じた時の相談先について

<全体的な傾向>

全体では、「家族・親族」が73.9%と最も割合が高く、次いで「精神科や認知症専門の医療機関（物忘れ外来など）」が27.8%、「地域包括支援センター」が18.5%となっています。

<要介護状態別の傾向>

各区分とも「家族・親族」が最も割合が高くなっています。

また、要支援認定者・要介護認定者で比較すると、「要支援1」と「要支援2」では「地域包括支援センター」、「要介護1」から「要介護5」にかけては「認知症を介護したことがある知人」が比較的高い割合となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	自分や家族が「認知症かな」と感じたときの相談先														
		家族・親族	友人	地域包括支援センター	認知症疾患医療センター	療養関係(物忘れ外来など)	精神科や認知症専門の医療機関	ある知人	認知症を介護したことがある知人	認知症コールセンター	認知症の人と家族の会	市役所	民生委員	その他	相談しない	わからない
全体	4497 100.0	3325 73.9	415 9.2	830 18.5	388 8.6	1252 27.8	175 3.9	167 3.7	42 0.9	304 6.8	183 4.1	88 2.0	26 0.6	217 4.8	395 8.8	
要介護状態別	一般高齢者	2463 100.0	1912 77.6	258 10.5	363 14.7	227 9.2	682 27.7	96 3.9	114 4.6	17 0.7	203 8.2	93 3.8	18 0.7	11 0.4	111 4.5	206 8.4
	要支援1	297 100.0	209 70.4	24 8.1	85 28.6	20 6.7	64 21.5	7 2.4	10 3.4	5 1.7	10 3.4	25 8.4	6 2.0	2 0.7	18 6.1	20 6.7
	要支援2	459 100.0	321 69.9	25 5.4	131 28.5	34 7.4	122 26.6	7 1.5	11 2.4	4 0.9	23 5.0	24 5.2	9 2.0	2 0.4	24 5.2	40 8.7
	事業対象者	90 100.0	63 70.0	8 8.9	29 32.2	12 13.3	30 33.3	1 1.1	2 2.2	2 2.2	4 4.4	6 6.7	2 2.2	0 0.0	4 4.4	8 8.9
	いずれでもない	99 100.0	78 78.8	7 7.1	26 26.3	12 12.1	21 21.2	3 3.0	4 4.0	4 4.0	4 4.0	8 8.1	1 1.0	0 0.0	1 1.0	8 8.1
	要支援・事業該当不明	63 100.0	39 61.9	3 4.8	10 15.9	4 6.3	9 14.3	0 0.0	1 1.6	1 1.6	6 9.5	5 7.9	0 0.0	0 0.0	9 14.3	7 11.1
	要介護1	318 100.0	220 69.2	27 8.5	67 21.1	26 8.2	106 33.3	17 5.3	5 1.6	4 1.3	12 3.8	3 0.9	19 6.0	4 1.3	14 4.4	29 9.1
	要介護2	250 100.0	180 72.0	28 11.2	49 19.6	17 6.8	86 34.4	20 8.0	8 3.2	1 0.4	13 5.2	5 2.0	15 6.0	0 0.0	13 5.2	15 6.0
	要介護3	125 100.0	90 72.0	10 8.0	19 15.2	9 7.2	41 32.8	6 4.8	2 1.6	0 0.0	7 5.6	2 1.6	8 6.4	0 0.0	5 4.0	9 7.2
	要介護4	101 100.0	72 71.3	14 13.9	16 15.8	5 5.0	34 33.7	6 5.9	2 2.0	3 3.0	6 5.9	4 4.0	6 5.9	3 3.0	5 5.0	5 5.0
	要介護5	43 100.0	31 72.1	2 4.7	5 11.6	5 11.6	15 34.9	4 9.3	2 4.7	1 2.3	3 7.0	0 0.0	2 4.7	1 2.3	2 4.7	2 4.7
	要介護度不明	36 100.0	23 63.9	2 5.6	5 13.9	4 11.1	12 33.3	2 5.6	1 2.8	0 0.0	3 8.3	2 5.6	0 0.0	1 2.8	1 2.8	9 25.0

Ⅱ-7. 介護保険サービスについて（総合事業対象者・要支援認定者、要介護認定者）

（1）介護保険サービスの利用について

<全体的な傾向>

全体では、「利用している」が71.6%と最も割合が高く、次いで「利用したことはない」が18.2%、「以前は利用していたが、現在は利用していない」が6.3%となっています。

<要介護状態別の傾向>

「いずれでもない」と「要支援・事業該当不明」、「要介護度不明」では「利用したことはない」、その他の区分では「利用している」が最も割合が高くなっています。

また、「要介護5」では「利用している」が93.0%となっており、ほとんどの方が介護保険サービスを利用しています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	介護保険サービスの利用				
		利用している	以前は利用していたが、現在は利用していない	利用したことはない	無回答	
全体	2034 100.0	1457 71.6	129 6.3	371 18.2	77 3.8	
要 介 護 状 態 別	要支援1	297 100.0	211 71.0	22 7.4	55 18.5	9 3.0
	要支援2	459 100.0	361 78.6	31 6.8	50 10.9	17 3.7
	事業対象者	90 100.0	63 70.0	6 6.7	16 17.8	5 5.6
	いずれでもない	99 100.0	22 22.2	10 10.1	58 58.6	9 9.1
	要支援・事業 該当不明	63 100.0	23 36.5	8 12.7	28 44.4	4 6.3
	要介護1	318 100.0	239 75.2	20 6.3	53 16.7	6 1.9
	要介護2	250 100.0	218 87.2	8 3.2	23 9.2	1 0.4
	要介護3	125 100.0	109 87.2	2 1.6	11 8.8	3 2.4
	要介護4	101 100.0	87 86.1	3 3.0	6 5.9	5 5.0
	要介護5	43 100.0	40 93.0	2 4.7	1 2.3	0 0.0
	要介護度不明	36 100.0	8 22.2	5 13.9	22 61.1	1 2.8

(2) 利用している介護保険サービスの満足度について

※介護保険サービスを「利用している」と回答した方(1457人)のみ集計

<全体的な傾向>

全体では、「満足している」が47.4%と最も割合が高く、次いで「どちらかといえば満足している」が44.1%、「どちらかといえば満足していない」が4.3%となっています。

<要介護状態別の傾向>

「要介護1」と「要介護4」、「要介護5」、「要介護度不明」では「どちらかといえば満足している」、その他の区分では「満足している」が最も割合が高くなっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	利用している介護保険サービスについて						
		満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない	無回答	非該当	
全体	1457 100.0	690 47.4	642 44.1	63 4.3	23 1.6	39 2.7	577	
要介護状態別	要支援1	211 100.0	105 49.8	88 41.7	13 6.2	4 1.9	1 0.5	86
	要支援2	361 100.0	176 48.8	154 42.7	14 3.9	6 1.7	11 3.0	98
	事業対象者	63 100.0	35 55.6	27 42.9	0 0.0	0 0.0	1 1.6	27
	いずれでもない	22 100.0	12 54.5	7 31.8	0 0.0	0 0.0	3 13.6	77
	要支援・事業該当不明	23 100.0	14 60.9	6 26.1	2 8.7	0 0.0	1 4.3	40
	要介護1	239 100.0	105 43.9	117 49.0	9 3.8	5 2.1	3 1.3	79
	要介護2	218 100.0	103 47.2	97 44.5	9 4.1	1 0.5	8 3.7	32
	要介護3	109 100.0	53 48.6	50 45.9	2 1.8	3 2.8	1 0.9	16
	要介護4	87 100.0	32 36.8	44 50.6	6 6.9	3 3.4	2 2.3	14
	要介護5	40 100.0	12 30.0	22 55.0	2 5.0	1 2.5	3 7.5	3
	要介護度不明	8 100.0	3 37.5	5 62.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	28

(3) 家族介護者が介護保険サービスを利用して感じる事（要介護認定者）

※家族介護者（728人）のみ集計

<全体的な傾向>

全体では、「介護にかかる心身の負担が大きい」が50.0%と最も割合が高く、次いで「介護保険サービスを利用して、精神的ゆとりが持てるようになった」が23.4%、「介護保険サービスを利用して、身体的負担が軽減した」が22.0%となっています。

<要介護状態別の傾向>

どの区分とも「介護にかかる心身の負担が大きい」が最も割合が高くなっています。

また、「要介護4」と「要介護5」では「介護のため、仕事や家事などが十分にできない」がそれぞれ29.9%、31.0%と比較的高い割合となっています。

さらに、「要介護5」では「介護にかかる経済的負担が大きい」が34.5%（29人中10人）と比較的高い割合となっています。

上段：回答者数、下段：割合

	合計	介護をしているうえで特に感じていること											
		介護に対する家族や親族の理解が十分でない	介護のため、仕事や家事などが十分にできない	介護にかかる経済的負担が大きい	介護にかかる心身の負担が大きい	介護の方法がわからない	介護保険サービスを利用して、自由な時間が増えた	介護保険サービスを利用して、身体的負担が軽減した	介護保険サービスを利用して、精神的ゆとりが持てるようになった	その他	特にない	無回答	
全体	728 100.0	87 12.0	135 18.5	151 20.7	364 50.0	25 3.4	117 16.1	160 22.0	170 23.4	26 3.6	48 6.6	101 13.9	
要介護認定状況別	要介護1	244 100.0	34 13.9	45 16.4	37 15.2	122 50.0	11 4.5	39 16.0	37 15.2	57 23.4	8 3.3	16 6.6	31 12.7
	要介護2	218 100.0	26 11.9	39 17.9	45 20.6	101 46.3	6 2.8	30 13.8	46 21.1	54 24.8	9 4.1	16 7.3	42 19.3
	要介護3	115 100.0	14 12.2	20 17.4	28 24.3	62 53.9	2 1.7	21 18.3	33 28.7	23 20.0	2 1.7	11 9.6	8 7.0
	要介護4	87 100.0	9 10.3	26 29.9	25 28.7	51 58.6	3 3.4	18 20.7	26 29.9	24 27.6	3 3.4	2 2.3	8 9.2
	要介護5	29 100.0	2 6.9	9 31.0	10 34.5	16 55.2	3 10.3	5 17.2	12 41.4	6 20.7	2 6.9	0 0.0	2 6.9
	要介護度不明	16 100.0	0 0.0	1 6.3	4 25.0	5 31.3	0 0.0	1 6.3	0 0.0	0 0.0	1 6.3	2 12.5	5 31.3